

松山市男女共同参画事業実施計画 令和6年度 実績報告(詳細版)

令和7年8月

市民部 人権・共生社会推進課

<目次>

通番	事業名	担当課	分類
1	市民に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	男女共同参画推進センター	主要課題1 男女の人権の尊重
2(19.32)	女性のための相談	男女共同参画推進センター	
3(20.33)	男性のための相談	男女共同参画推進センター	
4	DV等に関する相談の実施	男女共同参画推進センター・子育て支援課	
5(124)	SNS子ども子育て相談窓口事業	こども相談課・子育て支援課	
6	市職員に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	人事課・職員厚生課	
7	若年層に対するデートDV等に関する啓発	人権・共生社会推進課	
8	DV等に関する学習会の実施	男女共同参画推進センター	
9	DV等に対応する相談員の資質の向上	子育て支援課	
10	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用	子育て支援課	
11	DV被害者支援庁内連絡会議の運営	子育て支援課	
12	地域におけるDV等被害者の早期発見	市民防災安全課	
13	関係機関との連携	子育て支援課	
14(112)	子育て短期支援事業	子育て支援課	
15	えひめ性暴力被害者支援センターなど相談機関の周知・啓発	市民生活課	
16(27)	保護者等を対象とした講演会等	すくすく支援課	
17	教職員研修事業(性教育)	教育研修センター事務所	
18(30)	保護者等を対象とした講演会等	保健体育課	
19(2.32)	女性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
20(3.33)	男性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
21(26.49)	地域包括支援センター運営事業	長寿福祉課	
22(50)	高齢者いきいきチャレンジ事業	長寿福祉課	
23	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理	健康づくり推進課	
24	松山市食育推進計画の進捗管理	健康づくり推進課	
25	各種健康診査の実施	健康づくり推進課・保険給付・年金課・すくすく支援課	
26(21.49)	地域包括支援センター運営事業【再掲】	長寿福祉課	
27(16)	保護者等を対象とした講演会等【再掲】	健康づくり推進課	
28	エイズ等特定感染症対策事業	保健予防課	
29	保護者等を対象とした講演会等	保健予防課	
30(18)	保護者等を対象とした講演会等【再掲】	保健体育課	
31(98)	自殺予防対策	保健予防課	
32(2.19)	女性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
33(3.20)	男性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
34(36)	ネットトラブルから子どもを守る取り組み	市民防災安全課	
35	男女共同参画の視点からの公的広報の実施	人権・共生社会推進課	
36(34)	ネットトラブルから子どもを守る取り組み【再掲】	市民防災安全課	
37	インターネットに関する相談機関の案内	市民生活課	
38(82)	企業内人権教育担当者研修講座	人権・共生社会推進課	
39	人権啓発推進員の養成	人権・共生社会推進課	
40	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
41	男女共同参画に関する情報の収集及び提供	男女共同参画推進センター	
42	男女共同参画に関する各種実態調査	男女共同参画推進センター	
43(144)	アンコンシャス・バイアスの解消のための講座	男女共同参画推進センター	
44	介護予防と認知症サポーターの養成	長寿福祉課	
45	ファミリー・サポート・センター(介護)	長寿福祉課	
46	障がい者総合相談窓口事業	障がい福祉課	
47	外国人に対する生活サポートボランティア	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	
48	在宅医療・介護連携推進事業	長寿福祉課	
49(21.26)	地域包括支援センター運営事業【再掲】	長寿福祉課	
50(22)	高齢者いきいきチャレンジ事業【再掲】	長寿福祉課	
51	障がい児相談窓口事業	障がい福祉課	
52	障がい者相談支援事業	障がい福祉課	
53	精神保健福祉事業	保健予防課	
54	若者の正社員化及び就労訓練	ふるさと納税・経営支援課	
55	市民からの各種相談への対応	市民生活課	
56	生活困窮者自立支援事業	生活福祉総務課	
57	生活保護支給事業	生活福祉総務課	
58	松山市子ども健全育成事業	子育て支援課	
59	平和への取り組み	市民生活課	
60	国際性豊かな人づくり	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	
61(142)	教職員研修事業(性の多様性)	教育研修センター事務所	
62	女性登用率の向上促進	人権・共生社会推進課	
63	市女性職員の職域拡大および管理職の登用促進	人事課	
64	インターンシップ及び市役所業務説明会等の実施	人事課	
65	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画の推進	人事課	
66	男女共同参画に関する研修制度の充実	人事課	

主要課題1
男女の人権の尊重

主要課題2
社会制度・慣行の見直し

67(131)	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業	市民防災安全課
68	女性の活躍推進(ジョカツ)	男女共同参画推進センター
69	人材育成に関する講座	男女共同参画推進センター
70(129)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)	地域消防推進課
71(132)	防災ひとつり地域創生事業	市民防災安全課
72(154)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供	男女共同参画推進センター
73	地域における男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター
74	まつやま農業者セミナー	農業委員会事務局
75	地域のまちづくりへの女性参画促進	まちづくり推進課
76	市民活動団体等に対する支援・連携促進	まちづくり推進課
77	情報収集、環境整備等の実施	議会事務局
78(97.102)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座	男女共同参画推進センター
79(85)	「まどんな応援企業宣言」認証制度	男女共同参画推進センター
80(86)	まどんな応援企業の周知啓発	男女共同参画推進センター
81	ワーク・ライフ・バランスの普及活動(企業・事業者・団体等)	男女共同参画推進センター
82(38)	企業内人権教育担当者研修講座【再掲】	人権・共生社会推進課
83(101)	男女雇用機会均等法等の周知・啓発	ふるさと納税・経営支援課
84	メンターの育成(市内ワーキング・グループ)	人権・共生社会推進課
85(79)	「まどんな応援企業宣言」認証制度【再掲】	男女共同参画推進センター
86(80)	まどんな応援企業の周知啓発【再掲】	男女共同参画推進センター
87	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発(市民)	男女共同参画推進センター
88(100.155)	若者のライフデザイン支援事業	男女共同参画推進センター
89	家族経営協定の推進	農業委員会事務局
90	担い手総合支援事業	農林水産振興課
91	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金	農林水産振興課(農業指導センター)
92	松山市人材育成事業補助金事業	ふるさと納税・経営支援課
93	女性の起業支援	ふるさと納税・経営支援課
94	高齢者雇用対策事業	ふるさと納税・経営支援課
95	女性の再就職支援	ふるさと納税・経営支援課
96	松山市テレワーク在宅就労の促進	企業立地・産業創出課
97(78.102)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】	男女共同参画推進センター
98(31)	自殺予防対策【再掲】	保健予防課
99	市男性職員の育児休暇取得の促進	人事課
100(88.155)	若者のライフデザイン支援事業【再掲】	男女共同参画推進センター
101(83)	男女雇用機会均等法等の周知・啓発【再掲】	ふるさと納税・経営支援課
102(78.97)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】	男女共同参画推進センター
103(149)	休日子どもカレッジ推進事業	こどもえがお課
104	子育てひろば等支援事業	こどもえがお課
105	児童クラブ運営事業	こどもえがお課
106(127)	地域子育て支援拠点事業(直営型)	すくすく支援課
107	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理	保育・幼稚園課
108	小児救急医療確保事業	医事兼事務課
109	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業(育児)】	子育て支援課
110	子育て応援券交付事業	子育て支援課
111	子育て家庭の送迎等支援	子育て支援課
112(14)	子育て短期支援事業【再掲】	子育て支援課
113	子育てに関する情報の発信	こどもえがお課
114	子ども医療助成事業	子育て支援課
115	児童館等管理運営事業	こどもえがお課
116	児童手当支給事業	子育て支援課
117	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業	すくすく支援課
118	産後ケア事業	すくすく支援課
119	多胎妊産婦等サポート事業(育児・家事援助サービス利用補助事業)	すくすく支援課
120	ひとり親家庭等の就労支援	子育て支援課
121	児童扶養手当支給事業	子育て支援課
122	ひとり親家庭医療助成事業	子育て支援課
123	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理	子育て支援課
124(5)	SNS子ども子育て相談窓口事業【再掲】	子育て支援課・こども相談課
125	子育て世代包括支援センター事業(すくすく・サポート)	すくすく支援課
126	総合相談事業	こども相談課
127(106)	地域子育て支援拠点事業(直営型)【再掲】	すくすく支援課
128	松山のひととまちを守る！防災士養成事業	市民防災安全課
129(70)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)【再掲】	地域消防推進課
130	自主防災組織育成事業	市民防災安全課
131(67)	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業【再掲】	市民防災安全課
132(71)	防災ひとつり地域創生事業【再掲】	市民防災安全課
133	対策本部運営事業	危機管理課
134(139)	松山市地域防災計画の進捗管理	危機管理課
135	防火指導事務	地域消防推進課

主要課題3
方針決定過程への
女性の参画拡大

主要課題4
仕事と生活の調和

主要課題5
地域防災分野での
男女共同参画

136	みんなの消防フェスタ開催事業	地域消防推進課	主要課題6 教育分野での 男女共同参画
137	幼年少年消防クラブ育成事務	地域消防推進課	
138	災害用物資資機材整備事業	危機管理課	
139(134)	松山市地域防災計画の進捗管理【再掲】	危機管理課	
140	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発	人権・共生社会推進課	
141	教職員研修事業(SDGs推進研修)	教育研修センター事務所	
142(61)	教職員研修事業(性の多様性)【再掲】	教育研修センター事務所	
143	松山の教育研究開発事業	教育研修センター事務所	
144(43)	アンコンジャス・バイアスの解消のための講座【再掲】	男女共同参画推進センター	
145	地区人権教育の推進	人権・共生社会推進課	
146	人権教育研究会の開催	人権・共生社会推進課	
147	人権啓発フェスティバルの開催	人権・共生社会推進課	
148	キャリア教育の支援	男女共同参画推進センター	
149(103)	休日子どもカレッジ推進事業【再掲】	こどもえがお課	
150	学校・家庭・地域連携協力推進事業(放課後子ども教室運営事業)	地域学習振興課	
151	子どもから広がるいじめ0ミーティング	学校教育課	
152	元気活力支援事業	地域学習振興課	
153	男女共同参画に関する出張講座の開催	男女共同参画推進センター	
154(72)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】	男女共同参画推進センター	
155(88,100)	若者のライフデザイン支援事業【再掲】	男女共同参画推進センター	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	1			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	市民に対するDV等に関する啓発						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	市民に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。特に11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には、シンボルカラーであるパープルのリボン運動等を実施する。						
数値目標	周知回数	R5	1回以上	R6	1回以上	R7	1回以上

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	男女共同参画推進センター・コムズでは、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、1階ロビーで、DVに関する各種情報を提供するとともに、パープルリボンを立体ツリーに飾ってもらったり、若者向けにデートDVのクイズを作成し、それに答えると職員手作りの小物をお渡ししたりする市民参加型の催事を行うことで意識啓発を行った。 また、市から恵与されたポケットティッシュ(DV相談窓口が記載されているカード入り)を大学生対象の「若者のライフデザイン支援事業」等にて配布したり、2階図書コーナーでは女性に対する暴力やセクハラ等について考えるきっかけとなる書籍のテーマ展示を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	当センターでは学習会の開催、図書の貸し出し、相談事業を行っているので、各事業を連携させることで、男女を問わず、DV等の意識啓発がより効果的になるよう取り組んでいく。 また、来館者以外の不特定多数の方にDV防止に関する意識啓発できるよう、SNSを活用した情報発信を検討していきたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	周知回数	2回	200%
-------------------------	------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R5)女性に対する暴力をなくす運動期間中にかかわらず、対象も高校生までの男女間のDVの啓発活動に取り組んではどうか。</p> <p>②(R6)コムズを情報発信の拠点として来場者に情報を届けているが、来場者には限りがあり、意識が高い方も多いので、それ以外の集団へも情報が届くような仕掛も必要ではないか。</p> <p>③(R6)学習会の開催、図書の貸し出し、相談業務を連携させていることでどのような効果があったのか、また、課題も記載してはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R5)愛媛県男女共同参画センターとの共催で、DV防止等をテーマとした事業を実施しているので、今後、愛媛県男女共同参画センターと検討していきたいと考えている。</p> <p>②③(R6)SNSでの情報発信を検討する。また、出張講座を含め主催事業において相談事業の周知を図ることで、相談につながったり、相談者に図書コーナーを紹介することで必要な知識を得ていただいている。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	2(19,32)			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	女性のための相談						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00(日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く)						
数値目標	相談件数	R5	1,300件	R6	1,300件	R7	1,300件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	【一般相談】電話相談:757件、面接相談:81件、メール相談:21件	合計859件
	【専門相談】(令和6年度新設) ①女性の臨床心理士・公認心理師による心理相談(カウンセリング):56件 ②女性の弁護士による法律相談:16件 ③キャリアコンサルタントによるキャリア・ライフ相談(7月開設):16件 ④社会保険労務士によるしごと・働き方相談:9件	合計97件

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	社会保険労務士によるしごと・働き方相談が年間48枠あるうちの9件(男性からの相談を含めると10件)と相談件数が伸び悩んでいる。まどんな応援宣言事業所への再周知を行う等、様々な機会を通して広報活動を行い、相談件数が増加するよう取り組んでいく。 4つの専門相談を開設したことから、30代～50代女性からの相談が増加した。 コムズ職員による一般相談では、相談員の資質向上に努めるとともに、専門相談へとつなげることにより、より効果的な相談対応に取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	956件	74%
-------------------------	------	------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
①(R5)メール相談はやり取りの所要時間と回答の難しさから対応者の負担は大きくなる可能性があるのではないか。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていける可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。 ②(R6)相談件数のような量的な評価だけでなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
①(R5)今後の事業見直しの参考とする。メール相談については、メール相談を入り口として、電話、面接相談につなげるよう対応している。メールでのやり取りを重ねる中で、相談者が心を開いていくことがあり、メール相談は相談の敷居を低くする相談方法であると実感している。 ②(R6)定量だけでなく定性評価の実施方法を検討していきたい。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	3(20,33)			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	男性のための相談						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30に心理相談員1名が受け付けている。						
数値目標	相談件数	R5	80件	R6	80件	R7	80件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>①男性相談(シニア産業カウンセラー、交流分析士等の有資格者が対応) 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 電話相談:36件、面接相談:22件 合計58件</p> <p>②社会保険労務士によるしごと・働き方相談【令和6年度新設】 毎月第3水曜日の18:30～20:30 電話相談:1件</p> <p style="text-align: right;">総合計59件</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性相談、社会保険労務士によるしごと・働き方相談とも相談件数が伸び悩んでいるため、様々な機会を通して周知活動を行い、相談件数が増加するよう取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	59件	74%
-------------------------	------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R5)男性相談は、電話・対面相談であることから、情報発信にSNSを使うだけでなく、相談方法の検討も必要だと考える。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていける可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。</p> <p>②(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R5)今後の事業見直しの参考とする。 男性相談は夜間の時間帯のみの実施であるが、多様な市民のニーズに応えるため、昼間の時間帯の相談日を増設する等、相談体制を検討していく。</p> <p>②(R6)定量だけでなく定性評価の実施方法を検討していきたい。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	4			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	DV等に関する相談の実施						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	現在、DV被害の相談には、福祉・子育て相談窓口や松山市男女共同参画推進センター、子ども総合相談センターで相談を受け付けている。男女間の暴力に対応する際には、愛媛県や警察、配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携し、安全に配慮した迅速な対応及び支援を行う。						
数値目標	周知回数	R5	1回以上	R6	1回以上	R7	1回以上

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	主催事業において当相談室のリーフレットを配布し、ホームページの全面リニューアルに際しては、より見やすくわかりやすい相談室のページ作成を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	女性からのDVに関する相談は15件で、令和5年度(18件)比83%であった。男性からのDVに関する相談は0件であった。当相談室にDV相談があった場合は、専門機関である愛媛県配偶者暴力相談支援センター等につなげているが、DV相談の最初の入り口として、引き続き、周知活動に取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	周知回数	1回	100%
-------------------------	------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)定量だけでなく定性評価の実施方法を検討していきたい。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	4			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	DV等に関する相談の実施						
担当	子育て支援課						
事業概要	現在、DV被害の相談には、福祉・子育て相談窓口や松山市男女共同参画推進センター、子ども総合相談センターで相談を受け付けている。男女間の暴力に対応する際には、愛媛県や警察、配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携し、安全に配慮した迅速な対応及び支援を行う。						
数値目標	周知回数	R5	1回以上	R6	1回以上	R7	1回以上

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	相談機関に関する情報を、チラシやパンフレット、ホームページへの掲載等で周知した。 令和3年11月から「子ども・子育て・DVらいん相談@まつやま」を開設し、相談体制の充実を図るほか、相談員が関係機関と連携しながら対応した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	福祉・子育て相談窓口には、76件(うち男性からの相談1件)のDV相談が寄せられた。関係機関とも連携し、被害者への支援に対応することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	周知回数	1回	100%
-------------------------	------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)DVに関する相談は、相談に至るまでに時間を要していたり、複雑に絡んだ問題を抱えていたりしており、満足度や連携件数といった点での評価の難しさがあるが、いただいた意見を参考に今後の評価観点を検討していく。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	5(124)			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業						
担当	こども相談課						
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。						
数値目標	相談受付件数	R5	430 件	R6	430 件	R7	430 件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	家族に相談を聞かれないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和6年度の実績は、こども相談164件、ひとり親相談30件、DV相談36件の合計230件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度 (%)	5点中 5点	100%
-----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があった。また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度 (%)	相談受付件数	230 件	53%
--------------------------	--------	-------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R5)LINEを活用した子ども子育て相談ですが、相談対応に曜日と時間の指定があるのは、利便性に問題があると思う。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていける可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。</p> <p>②(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R5)今後の事業見直しの参考とする。</p> <p>②(R6)匿名希望の相談者が多いため、相談を受けた方々の満足度を調査することは難しいと考えるが、他機関との連携件数等、今後の事業実施の参考にする。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	5(124)			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業						
担当	子育て支援課						
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。						
数値目標	相談受付件数	R5	430 件	R6	430 件	R7	430 件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	家族に相談を聞かれないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和6年度の実績は、こども相談164件、ひとり親相談30件、DV相談36件の合計230件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があった。また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談受付件数	230 件	53%
-------------------------	--------	-------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R5)LINEを活用した子ども子育て相談ですが、相談対応に曜日と時間の指定があるのは、利便性に問題があると思う。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていく可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。</p> <p>②(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R5)今後の事業見直しの参考とする。</p> <p>②(R6)DVIに関する相談は、相談に至るまでに時間を要していたり、複雑に絡んだ問題を抱えていたりしており、満足度や連携件数といった点での評価の難しさがあるが、いただいた意見を参考に今後の評価観点を検討していく。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	6
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市職員に対するDV等に関する啓発			
担当	人事課			
事業概要	全市職員に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について、研修の実施や庁内報の作成・配付などを通して、広く周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	毎月、全庁発信している「安全衛生だより」で、セクシュアルハラスメントの庁内相談窓口を毎月継続して周知するとともに、R6年4月号外とR7年3月号の同だより、またR6年10月「コンプライアンス通信」でセクシャルハラスメントの防止をテーマに周知啓発を行った。 また、各種職階別の研修全てにハラスメント防止対策を盛り込むとともに、ハラスメント防止対策をテーマとしグループワークを取り入れた職場還元研修(全所属からリーダー級職員1名出席)を実施した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	セクシュアルハラスメントについて、全庁発信で広く継続周知することができたため、今後も継続して実施する。 また、新たに全職階別研修での周知やグループワークでセクシュアルハラスメントの防止について理解を深める研修も行うことで、セクシュアルハラスメント防止と健全な職場環境の確保に繋がっていくと思われる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)改正労働施策総合推進法成立によりカスタマーハラスメント防止対策が義務化されたので、職員研修や対応マニュアルの策定に取り組んでほしい。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)令和6年10月に、「カスタマーハラスメント対策マニュアル」を策定し、組織として毅然とした対応に取り組んでいる。また、愛媛県警から派遣されている監察官の指導のもと、具体的な対応策を実践で学ぶ、ロールプレイング研修を行い、職員の対応力の向上を図っている。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	6
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市職員に対するDV等に関する啓発			
担当	職員厚生課			
事業概要	全市職員に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について、研修の実施や庁内報の作成・配付などを通して、広く周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	毎月、全庁発信している「安全衛生だより」で、セクシュアルハラスメントの庁内相談窓口を毎月継続して周知するとともに、R6年4月号外とR7年3月号の同だより、またR6年10月「コンプライアンス通信」でセクシャルハラスメントの防止をテーマに周知啓発を行った。 また、各種職階別の研修全てにハラスメント防止対策を盛り込むとともに、ハラスメント防止対策をテーマとしグループワークを取り入れた職場還元研修(全所属からリーダー級職員1名出席)を実施した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	セクシュアルハラスメントについて、全庁発信で広く継続周知することができたため、今後も継続して実施する。 また、新たに全職階別研修での周知やグループワークでセクシュアルハラスメントの防止について理解を深める研修も行うことで、セクシュアルハラスメント防止と健全な職場環境の確保に繋がっていくと思われる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)改正労働施策総合推進法成立によりカスタマーハラスメント防止対策が義務化されたので、職員研修や対応マニュアルの策定に取り組んでほしい。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)令和6年10月に、「カスタマーハラスメント対策マニュアル」を策定し、組織として毅然とした対応に取り組んでいる。また、愛媛県警から派遣されている監察官の指導のもと、具体的な対応策を実践で学ぶ、ロールプレイング研修を行い、職員の対応力の向上を図っている。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	7
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	若年層に対するデートDV等に関する啓発			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	市内大学等と連携し、若年層に対するデートDV防止に向けた周知啓発活動を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11月12～25日)に併せて啓発用ティッシュを作成し、各大学に出張講座などの機会を捉えて配付した。 令和6年度は、「若者のライフデザイン支援事業」に参加の各大学生や、人権教育・啓発指導員の出張授業の機会に配付を行い、計200個程度のティッシュを配付することで周知啓発を行った。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	3点中 3点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	対象外
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>特に、現在国が積極的に取り組んでいる若年層の性暴力やAV出演被害に関する内容や相談窓口などを周知することができた。 今後も、より効果的な周知方法を検討していきたい。 配慮度の項目④の取組が十分ではないので、事業結果をHPで公表することを検討する。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R5)女性に対する暴力をなくす運動期間中にかかわらず、対象も高校生までの男女間のDVの啓発活動に取り組んではどうか。 ②(R6)市が行う婚活事業の中でも情報発信してはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R5)DVの啓発については、高校生も対象に加えて啓発方法等を検討する。 ②(R6)若年層向けイベントでのチラシ配布を検討する。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	8
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する学習会の実施			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	深刻な人権侵害であり、社会問題となっているDVの問題解決にむけた学習会を実施し支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>愛媛県男女共同参画センターとの共催で、(一社)社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤智子氏を招聘し、講演会「困難な問題を抱える若年女性～支援団体の活動から見てきたこと～」を2月28日(金)に開催した。 [対象:困難な課題を抱える女性等(子ども、男性含む)を支援する対人援助職(相談員、臨床心理士、カウンセラー、教員等)限定]</p> <p>参加者内訳:会場参加41名(女性40名 男性1名), オンライン参加25名(女性25名)</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	対人援助に従事している専門職を対象にした講演会で、若年女性に対する支援のあり方を具体的に学ぶことができ、今後の支援活動に有益な内容であった。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)DVの相談を受ける職員のメンタルサポートの体制が大事である。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)相談員のメンタルヘルスのため、臨床心理士による個別面談を実施したり、外部研修に積極的に参加している。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	9
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に対応する相談員の資質の向上			
担当	子育て支援課			
事業概要	相談内容に適した対応を迅速且つ的確に実施するため、本市において応対する女性相談支援員の専門知識と相談対応能力の向上に取り組む。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>「中国・四国地区女性支援事業研究協議会」(オンライン開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「全国女性相談支援員・心理支援員研究協議会」(石川県にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「女性相談支援員等研修会」(松山市にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「配偶者暴力相談支援センター連携会議」(松山市にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 県・市連携事業「困難な問題を抱える若年女性」講演会(松山市にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「配偶者からの暴力相談担当職員基礎研修」(オンライン開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「配偶者からの暴力相談担当職員スキルアップ研修」(オンライン開催)に女性相談支援員1名が参加した。 NPO法人ささえる主催の「つながる支援勉強会」にて、女性相談支援員1名が講師として登壇した。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	令和6年4月に困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行され、女性相談支援員が支援する対象者の範囲が拡大した。引き続き、定期的に研修会等へ参加し、さらなる知識や技術の向上等に努めていく。また、研修参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を図ることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R6)DVの相談を受ける職員のサポートの体制が大事である。 ②(R6)相談員同士の情報連携、共有、スキルアップ等、課題は多いと思う。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①②(R6)対応が困難なケースについては専門職と協議し、関係機関等と連携した支援やケース会議の開催等を実施している。国や県が主催する研修にも積極的に参加するなど、問題や課題を抱えた女性たちの支援の中心となれるよう努力している。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	10
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用			
担当	子育て支援課			
事業概要	庁内全体で迅速かつ確かなDV被害者支援に努めるため、庁内支援体制についての対応マニュアルを適宜見直す。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	11月12日に開催したDV被害者支援庁内研修会において、「各課のDV支援と連携」や「関係機関によるDV支援」等を紹介し、担当者への周知徹底を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	関係課の担当者が変更となった際、新たな担当者に「DV被害者支援対応マニュアル」について、把握してもらう必要がある。集合形式での庁内研修会の開催ができ、参加者には庁内でのDV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	11
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援庁内連絡会議の運営			
担当	子育て支援課			
事業概要	関係課で構成するDV被害者支援庁内連絡会において、被害者情報を速やかに共有する。また、支援の重要性を徹底し、支援方法や注意事項などについての情報を共有するとともに、職員の意識向上を図るために研修の機会を設ける。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	10月4日に愛媛県DV防止・女性支援施策推進連絡会議が開催され、各市町との情報共有を行った。 11月12日にDV被害者支援庁内研修会を開催し、公益財団法人えひめ女性財団の方を講師に迎え、学びを深めるとともに21の関係課との情報共有を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	庁内関係課の担当者に対し、DV支援に関する基本的な内容の研修を毎年実施しているが、スキルアップした内容の検討や担当者異動に伴う引継ぎにおいても、周知徹底を行っていく。課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。外部講師を迎えた研修を行い、知識を深めるとともに、DV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	12
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	地域におけるDV等被害者の早期発見			
担当	市民防災安全課			
事業概要	地区防犯協会等と連携し、市民に対し、改正DV法や改正ストーカー規制法の周知啓発、相談機関に関する情報提供を行う。また、研修会の機会を通じて、松山市防犯協会推進員等に対し、周知啓発を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	12月12日実施の「松山市暴力団排除推進連絡協議会・松山市防犯協会合同研修会」で、防犯協会の支部長等に内閣府作製のDVIに関するチラシを配布し、市民から相談等があった場合の対応について周知啓発を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	松山市防犯協会の各支部(地区ごと)の支部長や各地区まちづくり協議会の代表者などを対象に研修会を実施し、102名の参加者に対して、重点目標をふまえた周知啓発を行うことができた。 配慮度の項目⑤の取組が十分ではないので、アンケートなど参加者の声を聞き取ることについて検討していきたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)DVの早期発見、早期対応のため、全ての子育て世帯に認知いただくことが重要である。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)各地域の防犯協会支部長と連携した周知方法について、今後も検討していきたい。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	13
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	関係機関との連携			
担当	子育て支援課			
事業概要	愛媛県や警察、県内市町などで構成する連絡会議での情報共有を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	10月4日に愛媛県DV防止・女性支援施策推進連絡会議が開催され、各市町との情報共有を行った。 1月17日に配偶者暴力相談支援センター連携会議が愛媛県男女共同参画センター(松山市)にて開催され、各市町の担当者を持ち寄られた議題について情報交換を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	庁内関係課とのさらなる連携が必要であり、相談の窓口となる女性相談支援員の知識や技術の向上に努めていく。参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	14(112)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	子育て短期支援事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	経済的な理由やDV被害等により、緊急一時的に保護をすることが必要な母親と児童を児童養護施設及びその他保護を適切に行うことができる施設において、7日以内で預かる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	緊急一時保護を1件松山市小栗寮で行い、母子の安全を確保した。
------------	--------------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	子育て短期支援事業での緊急一時保護を行うことで、母子を安全に保護することができた。第3期子ども・子育て支援事業計画策定に伴い、実施後に利用時の様子や今後の体制についての声(意見)や希望を伺っている。R6年度に就学前児童と小学生児童の子を持つ親にアンケートを行った結果、本事業の認知度は約17%であった。一方、関係機関から本事業の問い合わせは一定数あることから、今後は、これまでの取組に加え、関係機関への周知や連携を通して支援を必要とする世帯へ情報が届くよう努める。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)早期発見、早期対応のためには子育て世帯間の情報網から情報を掴むことも重要と感じる。そのために全ての子育て世帯に認知いただくことが重要である。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)子育て情報サイト「にこっと」をはじめ、ホームページへの掲載や子育て世帯を対象とする冊子やチラシの配布を行い周知・啓発に努めている。また、早期発見、早期対応にて、必要性の高い家庭にはこども家庭センターと連携し事業の紹介や説明を行っている。相談者には事業説明を行い事業内容を知っていただくことで、子育て世帯間の情報網で必要な家庭には声掛けしてもらうようにも伝えている。引き続き、関係課等と連携し子育て世帯に認知していただけるよう努めていく。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	15
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	えひめ性暴力被害者支援センターなど相談機関の周知・啓発			
担当	市民生活課			
事業概要	性暴力の被害者が早期に安心して相談できるよう相談機関の周知を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	HPや広報紙などで相談機関の周知を図った。
------------	-----------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き、性暴力の被害者が早期に安心して相談できるよう相談機関の周知を図っていく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	16(27)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	すくすく支援課			
事業概要	児童・生徒が、性や喫煙の害についての正しい知識を持つことができ、保護者が家庭における性教育に関心を持ち、子どもの心と体の健康について理解を深めることができるよう健康教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>※性や喫煙の害のうち、すくすく支援課が性について(通番16)、健康づくり推進課が喫煙の害について(通番27)担当している</p> <p>(1)学生を対象に、保健師・助産師の講義を実施。女子学生に対しては、自分のからだを大切にできるよう、月経・避妊・子宮頸がん予防(ワクチン、検診)について、男女ともにプレコンセプションケアについて周知啓発を実施。 【実績】松山東雲女子大学・短期大学学生156名(女性のみ)、聖カタリナ短期大学保育科学生55名(男女)、北条南中学校98名(男女)</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>プレコンセプションケアの必要性について、男女とも若い世代に対して周知啓発を継続していくことが課題。講演後のアンケートから、学生は概ね自分の健康について向き合い、今後の方向性について考えていることがうかがえる。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	17
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	教職員研修事業(性教育)			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	経験年数に応じて実施する研修等で、コンプライアンス(教職員等による児童生徒性暴力等の防止を含む)の周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>経験年数に応じて実施する研修のうち、2年目研修の57名、中堅研修Ⅱ(教諭としての在職期間10年に達した者又は中堅研修Ⅰを終了して35歳以上の者)の54名、中堅研修Ⅲ(中堅研修Ⅱを終了して40歳以上の者)の34名に対して、愛媛県警から出向している松山市教育委員会主幹によるコンプライアンスの研修を行った。教職員等による児童生徒への性犯罪事件の一部を取り上げ、法律面や事件発生の経緯等を学ぶことで、児童生徒への性暴力防止の意識を高めることができた。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>各経験年数に応じて実施する研修において、コンプライアンスの研修を行ったことで、松山市内の小中学校教職員の不祥事防止に繋げることができた。研修後の受講者アンケートでは、「性暴力を含む不祥事を、自分が起こすことがないことはもちろんのこと、組織として必ず気が付くことができるよう、危機意識を高めたい。」という回答から意識の高まりを見ることができた。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>(R6)教職員の不祥事防止対策としてコンプライアンス研修は必要だと思うが、その問題行動の背景にある教職員の職場環境ストレスにも目を向ける必要があると思う。改正労働施策総合推進法成立によりカスタマーハラスメント防止対策が義務化されたので、教育現場でも進めてほしい。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>(R6)経験年数に応じて実施する研修の中で、接遇マナー等に関する研修を行い、教職員の対応力の向上を図っている。今後も学校や社会のニーズを捉えながら、研修内容を検討していく。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	18(30)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	保健体育課			
事業概要	小中学生や保護者等を対象に、性や心と体の健康についての講演会を行い、また、授業の中で喫煙防止教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市立小中学校24校、計5,395人の児童・生徒・教職員・保護者を対象に、子どものメンタルヘルス及び性に関する講演会を実施したほか、喫煙防止リーフレットを各学校でダウンロードして使用できるようにし、小学生(保護者含む)3,509人、中学生5,623人を対象に喫煙防止教室を開催した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	講演会については、R6年度から新たに「思春期教室」を講演会の講師一覧に加え、思春期に対する理解を深め、性教育の推進を図る事ができた。喫煙防止リーフレットについてはいずれかの性別に偏ることのないよう配慮した内容で授業に使用することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	19(2,32)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援					
事業名	女性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00(日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く)						
数値目標	相談件数	R5	1,300件	R6	1,300件	R7	1,300件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	【一般相談】電話相談：757件、面接相談：81件、メール相談：21件	合計859件
	【専門相談】(令和6年度新設) ①女性の臨床心理士・公認心理師による心理相談(カウンセリング)：56件 ②女性の弁護士による法律相談：16件 ③キャリアコンサルタントによるキャリア・ライフ相談(7月開設)：16件 ④社会保険労務士によるしごと・働き方相談：9件	合計 97件 総合計956件

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	社会保険労務士によるしごと・働き方相談が年間48枠あるうちの9件(男性からの相談を含めると10件)と相談件数が伸び悩んでいる。まどんな応援宣言事業所への再周知を行う等、様々な機会を通して広報活動を行い、相談件数が増加するよう取り組んでいく。 4つの専門相談を開設したことから、30代～50代女性からの相談が増加した。 コムズ職員による一般相談では、相談員の資質向上に努めるとともに、専門相談へとつなげることにより、より効果的な相談対応に取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	956件	74%
-------------------------	------	------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
①(R5)メール相談はやり取りの所要時間と回答の難しさから対応者の負担は大きくなる可能性があるのではないか。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていける可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。	
②(R6)相談件数のような量的な評価だけでなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	
①(R5)今後の事業見直しの参考とする。メール相談については、メール相談を入り口として、電話、面接相談につなげるよう対応している。メールでのやりとりを重ねる中で、相談者が心を開いていくことがあり、メール相談は相談の敷居を低くする相談方法であると実感している。	
②(R6)定量だけでなく定性評価の実施方法を検討していきたい。	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	20(3,33)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援					
事業名	男性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30に心理相談員1名が受け付けている。						
数値目標	相談件数	R5	80件	R6	80件	R7	80件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>①男性相談(シニア産業カウンセラー、交流分析士等の有資格者が対応) 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 電話相談:36件、面接相談:22件 合計58件</p> <p>②社会保険労務士によるしごと・働き方相談【令和6年度新設】 毎月第3水曜日の18:30～20:30 電話相談:1件</p> <p style="text-align: right;">総合計59件</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性相談、社会保険労務士によるしごと・働き方相談とも相談件数が伸び悩んでいるため、様々な機会を通して周知活動を行い、相談件数が増加するよう取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	59件	74%
-------------------------	------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
<p>①(R5)男性相談は、電話・対面相談であることから、情報発信にSNSを使うだけでなく、相談方法の検討も必要だと考える。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルズ相談(メンタルヘルズさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていける可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。</p> <p>②(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
<p>①(R5)今後の事業見直しの参考とする。 男性相談は夜間の時間帯のみの実施であるが、多様な市民のニーズに応えるため、昼間の時間帯の相談日を増設する等、相談体制を検討していく。</p> <p>②(R6)定量だけでなく定性評価の実施方法を検討していきたい。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	21(26,49)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	地域包括支援センター運営事業			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを運営する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを設置し、社会福祉法人や医療法人など13法人に運営を委託した。</p> <p>地域包括支援センターでは、高齢者やその家族などから年間、約35,700件の相談があった。また、関係機関との連絡会を126回開催したほか、地域の行事に772回参加するなど、地域のネットワークを構築するため、医療機関や介護事業所、民生委員などと連携を図った。</p> <p>また、長寿福祉課内には、基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センター間の連携や専門職の部会を11回、研修会を5回行うなど各職員のスキルアップを図ったほか、運営協議会の意見を踏まえたうえで、公正中立性を担保するための事業評価を行った。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>性別に捉われず、様々な相談に対し、適正な相談支援を行った。</p> <p>住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、地域における関係者とのネットワークの構築を図った。</p> <p>高齢者虐待に対する相談、通報に関し、地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターが連携をとり、対応した。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
(R5)相談者に性別の要件を設けておらず、相談者に寄り添った対応を行っている。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	22(50)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	高齢者いきいきチャレンジ事業			
担当	長寿福祉課			
事業概要	市内在住の65歳以上の高齢者を対象とし、外出機会の創出、身体機能の低下の防止及び健康寿命の延伸につなげる事業。市が指定するイベントに参加し、スマホを使用してポイントを貯めると道後温泉別館飛鳥乃湯泉に入浴できるほか、電子マネーのPayPayにも交換できる。スマホを持っていない方は紙のカードにスタンプを貯めて道後温泉別館飛鳥乃湯泉の入浴券と交換できる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年5月にアプリの登録やスマホの使い方などを気軽に相談できるよう「いきいきチャレンジ健康アプリ相談窓口」をまつちかタウンに開設した。また、事業対象イベントを34回実施し、高齢者の健康づくり、介護予防、外出機会の創出につながった。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	アプリ登録者は男性が4割、女性が6割となっている。令和6年度は、広報紙や広報番組を活用し、幅広く周知を行ったほか、相談窓口の設置やスマホ教室の開催など、男女問わず気軽にアプリやスマホを利用できるよう取り組んだ。令和7年度も相談窓口や対象イベントを拡充し、引き続き、高齢者の外出機会の創出などにつなげていきたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	23
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	松山市健康増進計画2024(旧「健康ぞなもし松山」)の進捗管理			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	市民一人一人の生涯にわたる心と身体の健康の保持増進を目標に、市民が主体的に健康づくりに取り組むための支援や、健康づくりのための環境整備を行うため、計画の進捗管理の一貫として懇談会を開催			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年3月に策定した松山市健康増進計画2024の推進のため、学識経験者や医療・保健関係、産業関係、教育関係、市民団体等、関係機関から推薦された出席者から、本市の健康の維持増進づくりのための取組やその結果についての意見を聴取した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男女の健康増進のための幅広い意見を、参加者から聴取できた		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	24
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	松山市食育推進計画の進捗管理			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	多様な関係機関と連携し、市民が食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたり健康な心身と豊かな人間性を育めるよう、食育を推進する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	第4次松山市食育推進計画を令和6年3月に策定し、計画に基づいた取組を強化するとともに、性別に捉われず誰もが調理を楽しめるレシピ集の作製に取組んだ。 あわせて、松山市食育推進会議を開催し庁内関係課の取組について情報共有を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	食育推進計画の策定や推進を担う、松山市食育推進会議(審議会)の委員選出時は、女性登用率50%を目指した調整に努めている。あわせて、推薦依頼を行う団体や公募委員についても性別にとらわれることなく、食との関連や関心などが深い団体・個人を選定している。 こうして委嘱した委員とともに、第4次松山市食育推進計画に基づき、食育を推進し指標目標の達成を目指している。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	25
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	各種健康診査の実施			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	生活習慣病やがん、歯科疾患の早期発見・早期治療を目的に特定健康診査やがん検診等の各種健康診査を実施している。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>・18歳以上の方に対し、歯科健康診査及び歯科保健指導を実施したほか、40歳、50歳、60歳、70歳の方を対象に(令和6年10月1日から20歳、30歳を追加)公費負担で歯周病検診と歯科保健指導を実施し、5,205人が歯科健(検)診を受診した。</p> <p>・各広報媒体や健康教育等により検診に対する適切な情報提供を行うとともに、受診勧奨及び周知啓発を行ったほか、対象年齢となる市民5,421人に子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を送付した。また令和6年度からは、治療によって生じた外見の変化による精神的な負担を感じているがん患者に対し、ウィッグや補整具等の購入費の助成を開始し、200件の申請を受け付けた。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	関係課と連携し、性別に応じた検診の表記内容において、男女共同参画に配慮できているか確認をするようにした。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	25
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	各種健康診査の実施			
担当	保険給付・年金課			
事業概要	生活習慣病やがん、歯科疾患の早期発見・早期治療を目的に特定健康診査やがん検診等の各種健康診査を実施している。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	(国保) 検診を受診した理由、受診していない理由の把握を目的としたアンケートを実施し、より効果的な周知啓発のあり方を検討した。未受診者に対し、個別に受診勧奨を行った。「がん検診受けようキャンペーン」を実施し、新規受診者の獲得と継続受診の定着を図った。 (後期) 高齢者健診受診者のうち、異常値放置者に対し、病院受診勧奨を行った。また、高齢者健診・歯科健診未受診者に対し健診受診勧奨を行うなど、健診周知を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受診勧奨等については、年齢、性別を問わず情報に接することができるよう、広報番組やSNS、フリーペーパー等、多様な広報媒体を活用し実施できた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	25
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	各種健康診査の実施			
担当	すくすく支援課			
事業概要	生活習慣病やがん、歯科疾患の早期発見・早期治療を目的に特定健康診査やがん検診等の各種健康診査を実施している。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>【個別妊婦歯科健康診査】 妊娠中に1回、市内登録医療機関にて無料で歯科健康診査と歯科保健指導を実施(松山市歯科医師会委託)。 ポスターを作成し、関係機関に掲示を依頼し、対象者参加の各事業にて受診勧奨を行った結果、受診者数は令和7年3月末時点で1,643人 受診率は55.9%であった。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>【個別妊婦歯科健康診査】 妊婦の受診によって、パートナー及び、家族の口腔ケアの意識向上につなげていきたい。 中核市の中でも高い受診率を維持しており、妊娠中の口腔ケアの重要性が多くの人に認知されてきている。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	26(21,49)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	地域包括支援センター運営事業【再掲】			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを運営する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを設置し、社会福祉法人や医療法人など13法人に運営を委託した。</p> <p>地域包括支援センターでは、高齢者やその家族などから年間、約35,700件の相談があった。また、関係機関との連絡会を126回開催したほか、地域の行事に772回参加するなど、地域のネットワークを構築するため、医療機関や介護事業所、民生委員などと連携を図った。</p> <p>また、長寿福祉課内には、基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センター間の連携や専門職の部会を11回、研修会を5回行うなど各職員のスキルアップを図ったほか、運営協議会の意見を踏まえたうえで、公正中立性を担保するための事業評価を行った。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>性別に捉われず、様々な相談に対し、適正な相談支援を行った。</p> <p>住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、地域における関係者とのネットワークの構築を図った。</p> <p>高齢者虐待に対する相談、通報に関し、地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターが連携をとり、対応した。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
(R5)相談者に性別の要件を設けておらず、相談者に寄り添った対応を行っている。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	27(16)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等【再掲】			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	児童・生徒が、性や喫煙の害についての正しい知識を持つことができ、保護者が家庭における性教育に関心を持ち、子どもの心と体の健康について理解を深めることができるよう健康教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>※性や喫煙の害のうち、すすく支援課が性について(通番16)、健康づくり推進課が喫煙の害について(通番27)担当している</p> <p>市内の中学3年生を対象に厚生労働省が作成した受動喫煙防止対策に関する啓発資料(中学生向けリーフレット)を配布【実績】配布校数:29校、配布枚数:4,270枚</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	喫煙可能年齢前の若年層に対し、男女問わず、周知啓発することにより、保護者などにも受動喫煙に関する知識を周知啓発できた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	28
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	エイズ等特定感染症対策事業			
担当	保健予防課			
事業概要	HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査、風しん抗体検査等の特定感染症検査及び相談を実施するとともに、正しい知識の普及啓発を実施。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	HIV抗体検査352件、エイズ電話・来所相談333件、肝炎ウイルス検査(B型肝炎ウイルス1,349件、C型肝炎ウイルス1,339件)、風しん抗体検査574件、梅毒348件を実施した。広報まつやまや市ホームページ、市公式LINEなど各種広報媒体を活用して周知啓発を行うとともに、HIV検査普及週間(6月1日～7日)や世界エイズデー(12月1日)に合わせて、関係機関や高校、大学、専門学校、風俗店等に、エイズ相談検査のポスターやフライヤーを送付した。また、愛媛県中予保健所、南海放送と共催で、世界エイズデーの街頭キャンペーンを実施したほか、大学祭でキャンペーンを行うなど、情報発信と予防啓発を行った。加えて、エイズ対策推進懇話会等を開催し、関係機関等との情報共有と連携強化を図った。継続した取組により、偏見・差別のない社会を目指したい。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	エイズ等特定感染症対策事業の実施により、受検者等の安心と早期発見・早期治療に繋がるほか、正しい知識と理解を得ることで、偏見・差別の撲滅と人権を守る社会が実現する。引き続き、プライバシーに十分配慮したうえで、本事業を実施してまいりたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	29
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	保健予防課			
事業概要	市内の中・高生を対象にエイズ予防についての正しい知識を持ち、予防及び人権的配慮ができるように支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	保健所医師と松山性病予防研究会の専門医が、4校586名を対象に、エイズや性感染症への正しい知識や予防、人権的配慮ができるよう、講演会を実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	学校で講演会を実施することで、エイズや性感染症に対する知識や予防、人権等について、日常生活のなかで、確認し実践する機会となっているほか、市保健所で行っているエイズ相談検査(HIV抗体検査、梅毒、肝炎ウイルス検査等)の啓発に繋がっている。継続した取組を実施したい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	30(18)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	保健体育課			
事業概要	小中学生や保護者等を対象に、性や心と体の健康についての講演会を行い、また、授業の中で喫煙防止教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市立小中学校24校、計5,395人の児童・生徒・教職員・保護者を対象に、子どものメンタルヘルス及び性に関する講演会を実施したほか、喫煙防止リーフレットを各学校でダウンロードして使用できるようにし、小学生(保護者含む)3,509人、中学生5,623人を対象に喫煙防止教室を開催した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	講演会については、R6年度から新たに「思春期教室」を講演会の講師一覧に加え、思春期に対する理解を深め、性教育の推進を図る事ができた。喫煙防止リーフレットについてはいずれかの性別に偏ることのないよう配慮した内容で授業に使用することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	31(98)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-3	自殺の予防と対策					
事業名	自殺対策						
担当	保健予防課						
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、庁内の関係課(55課)の担当者が本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得し庁内ネットワークを構築することで、自殺対策を円滑に推進する。						
数値目標	会議開催数	R5	2回	R6	2回	R7	2回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>松山市自殺対策庁内担当者会を2回開催し、計96名の職員が参加した。</p> <p>1回目(10月)では、「本市の自殺の現状と自殺対策の取り組みについて」の講話及び「第3次松山市自殺対策基本計画」の参考にするため、庁内の連携強化等についてグループワークを実施し、各課の市民対応や事業の振り返りと課題の抽出を行った。</p> <p>2回目(12月)では、NPO法人こころ塾の村松つね氏が講師として「ゲートキーパーとして大切な事とセルフケアについて」の講演会を開催し、市職員としてゲートキーパーの役割や心得について学んだ。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>受講後のアンケート結果では、今回の内容が参考になったとの回答が100%であった。</p> <p>男女共同参画への配慮度については、今回から性別欄に非選択を設けて性別違和の方への対応を行なった。</p> <p>参加者の割合は男性が多いことから、今後女性の割合を増やすために研修内容や研修方法等を見直していきたい。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	会議開催数	2回	100%
-------------------------	-------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	32(2,19)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-3	自殺の予防と対策					
事業名	女性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00(日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く)						
数値目標	相談件数	R5	1,300 件	R6	1,300 件	R7	1,300 件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の 取組内容	【一般相談】電話相談：757件、面接相談：81件、メール相談：21件	合計859件
	【専門相談】(令和6年度新設) ①女性の臨床心理士・公認心理師による心理相談(カウンセリング)：56件 ②女性の弁護士による法律相談：16件 ③キャリアコンサルタントによるキャリア・ライフ相談(7月開設)：16件 ④社会保険労務士によるしごと・働き方相談：9件	合計 97件 総合計956件

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	社会保険労務士によるしごと・働き方相談が年間48枠あるうちの9件(男性からの相談を含めると10件)と相談件数が伸び悩んでいる。まどんな応援宣言事業所への再周知を行う等、様々な機会を通して広報活動を行い、相談件数が増加するよう取り組んでいく。 4つの専門相談を開設したことから、30代～50代女性からの相談が増加した。 コムズ職員による一般相談では、相談員の資質向上に努めるとともに、専門相談へとつなげることにより、より効果的な相談対応に取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	956 件	74%
-------------------------	------	-------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
①(R5)メール相談はやり取りの所要時間と回答の難しさから対応者の負担は大きくなる可能性があるのではないか。 愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていける可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。 ②(R6)相談件数のような量的な評価だけでなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
①(R5)今後の事業見直しの参考とする。メール相談については、メール相談を入り口として、電話、面接相談につなげるよう対応している。メールでのやりとりを重ねる中で、相談者が心を開いていくことがあり、メール相談は相談の敷居を低くする相談方法であると実感している。 ②(R6)定量だけでなく定性評価の実施方法を検討していきたい。

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	33(3.20)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-3	自殺の予防と対策					
事業名	男性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30に心理相談員1名が受け付けている。						
数値目標	相談件数	R5	80件	R6	80件	R7	80件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>①男性相談(シニア産業カウンセラー、交流分析士等の有資格者が対応) 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 電話相談:36件、面接相談:22件 合計58件</p> <p>②社会保険労務士によるしごと・働き方相談【令和6年度新設】 毎月第3水曜日の18:30～20:30 電話相談:1件</p> <p style="text-align: right;">総合計59件</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性相談、社会保険労務士によるしごと・働き方相談とも相談件数が伸び悩んでいるため、様々な機会を通して周知活動を行い、相談件数が増加するよう取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	59件	74%
-------------------------	------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
<p>①(R5)男性相談は、電話・対面相談であることから、情報発信にSNSを使うだけでなく、相談方法の検討も必要だと考える。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っていく可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。</p> <p>②(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしては。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
<p>①(R5)今後の事業見直しの参考とする。 男性相談は夜間の時間帯のみの実施であるが、多様な市民のニーズに応えるため、昼間の時間帯の相談日を増設する等、相談体制を検討していく。</p> <p>②(R6)定量だけでなく定性評価の実施方法を検討していきたい。</p>

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	34(36)			
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重					
実行項目	1-3-1	情報活用能力(メディア・リテラシー)の向上支援					
事業名	ネットトラブルから子どもを守る取り組み						
担当	市民防災安全課						
事業概要	インターネットは、手軽に情報発信ができ、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えている。社会経験が少ない子どもたちをネットトラブルから守るため、NPO等の市民活動団体との連携によるインターネット安全教室の実施を行うなど、メディア・リテラシーの啓発を行う。						
数値目標	インターネット安全教室実施回数	R5	50回	R6	50回	R7	50回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市内の小中学校を対象にNPO法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部によるインターネット安全教室を43教室、愛媛県警察本部人身安全対策・少年課による情報モラル教室を14教室を実施した。(計57教室)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講後のアンケート結果により、受講者に必要なスキルを身につけてもらうことができているため、引き続き、関係機関と連携し、取組を継続する。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	インターネット安全教室実施回数	57回	114%
-------------------------	-----------------	-----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	35			
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重					
実行項目	1-3-2	公的広報等で男女共同参画の視点に立った表現の促進					
事業名	男女共同参画の視点からの公的広報の実施						
担当	人権・共生社会推進課						
事業概要	公的広報(広報やホームページ、その他市が発行する印刷物等)では、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現にすることが求められている。「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の内容を市役所の各部局等に周知し、松山市が発信するあらゆる情報について男女共同参画に配慮した表現を推進する。また、必要に応じて適宜手引きの見直しを実施する。						
数値目標	周知回数	R5	1回	R6	1回	R7	1回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」を庁内ワーキンググループに共有した。また、全庁に公開する庁内キャビネに公開し、庁内で情報を共有している。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	国やそのほかの動向を注視し、内容の見直しを検討する。 庁内ワーキンググループ内のみならず、全庁的な認知度向上が課題である。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	周知回数	1回	100%
-------------------------	------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	36(34)			
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重					
実行項目	1-3-3	インターネット上の女性に対する暴力等への対応					
事業名	ネットトラブルから子どもを守る取り組み【再掲】						
担当	市民防災安全課						
事業概要	インターネットは、手軽に情報発信ができ、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えている。社会経験が少ない子どもたちをネットトラブルから守るため、NPO等の市民活動団体との連携によるインターネット安全教室の実施を行うなど、メディア・リテラシーの啓発を行う。						
数値目標	インターネット安全教室実施回数	R5	50回	R6	50回	R7	50回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市内の小中学校を対象にNPO法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部によるインターネット安全教室を43教室、愛媛県警察本部人身安全対策・少年課による情報モラル教室を14教室を実施した。(計57教室)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講後のアンケート結果により、情報活用能力の向上につながっている。内容はインターネット上の女性に対する暴力等への対応に特化したものではないが、引き続き、対象の年齢に応じた検討を行う。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	インターネット安全教室実施回数	57回	114%
-------------------------	-----------------	-----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	37
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-3	インターネット上の女性に対する暴力等への対応		
事業名	インターネットに関する相談機関の案内			
担当	市民生活課			
事業概要	インターネット上でのトラブルに関する相談に対して、相談内容に応じて関係機関につなげるなど、的確な対応に努める。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	インターネット上でのトラブルに関する相談に対して、相談内容に応じて関係機関につなげるなど、的確な対応に努めた。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に捉われず、様々な相談に対して適切な相談支援を行った。 常に相談者に寄り添うことを心掛け、その思いを丁寧に傾聴することで、相談者に応じて適切な対応が図られた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	38(82)
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-3	インターネット上の女性に対する暴力等への対応		
事業名	企業に対する人権啓発講座(旧:企業内人権教育担当者研修講座)			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	企業等には、公正公平な採用基準の徹底等をはじめ、企業活動を行う上で直面する人権に関わるさまざまな課題に対し、企業の社会的責任が求められていることから、市内の中小企業等の経営者又は従業員等を対象に研修講座を実施し、企業内における人権意識の高揚を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年10月24日(木)に、「多様な人々と共に組織を・社会をつくる～ダイバーシティとジェンダー平等～」というテーマでNPO法人ワークライフ・コラボの堀田 真奈さんを講師に招き、講演会を実施した。会場受講者19名、オンライン受講者14名の計33名が参加した。「男だから」「女だから」という考え方のアップデートが必要であることが分かった等の感想が多く寄せられた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講者アンケートでは、「ジェンダーバイアスにとらわれない働きやすい職場づくりのために、講座内容を職場でも共有したい」等の感想が多数寄せられ、職場の男女共同参画について意識を高めることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	39			
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し					
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進					
事業名	人権啓発推進員の養成						
担当	人権・共生社会推進課						
事業概要	市内41地区公民館等から推薦された方を「人権啓発推進員」に認定し、人権教育・啓発に関する地域のリーダーとしての資質の向上、意識の高揚を図ることにより、各地域における人権教育推進の組織整備・充実を目指すとともに、豊かな人権感覚と男女共同参画意識の拡大に努める。						
数値目標	人権啓発推進員認定者数	R5	1,000人	R6	1,000人	R7	1,000人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>令和6年度の人権啓発推進員養成講座(4回)を以下の内容で実施した。</p> <p>【第1回】人権問題の現状と課題～人権啓発推進員としての基礎知識～(5月9日、5月14日)</p> <p>【第2回】知ろう、気付こう、性別による無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス) (6月6日 14:00～15:30、7月4日 19:00～20:30)</p> <p>【第3回】高齢者の人権～老いも認知症も妻もあきらめて生きる～ (6月6日 19:00～20:30、7月4日 14:00～15:30)</p> <p>【第4回】「ふつう」をみんなでつくりましょう―「共生社会」づくりをとおして―(8月1日、8月6日)</p> <p>令和6年度の人権啓発推進員を178人認定した。</p> <p>また、今年度に認定された人権啓発推進員等を対象に、地域活動の取組事例などについて情報交換や共有を行い、地域活動につなげることを目的として「人権啓発推進員新任者研修」を開催した。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>受講者の募集にあたっては、性別や年齢等を限定することなく行っている。就労している男女共に参加しやすいよう、昼の部と夜の部の二部制にしている。</p> <p>第2回では、男女共同参画に関する市民意識調査結果と「アンコンシャスバイアス」を中心に、ジェンダー平等の実現について考える講座を開催し、49人の参加があった。参加者の高齢化や、人権教育・啓発活動に携わるメンバーが固定化し、新規の受講者は少なくなってきた。これまで、毎年公民館に人権啓発推進員の推薦を依頼するとともに、一人でも多くの市民に関心をもっていただくために、広報まつやまや松山市ホームページで人権啓発推進員養成講座の案内を実施してきた。今後も引き続き参加を呼びかけるとともに、各種講座等の開催時にも声かけを行いたい。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	人権啓発推進員認定者数	989人	99%
-------------------------	-------------	------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R6)新規参加者等を増やすための取り組みを記載してはどうか。</p> <p>②(R6)6年度178人認定とあるが、その人たちの活動は地域でどう生かされているか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R6)公民館に推薦を依頼するとともに、各種講座でも受講を呼びかけたいと記載する。</p> <p>②(R6)認定を受けた人権啓発推進員は、人権教育・啓発の取組を積極的に推進するリーダーとして、それぞれの地域の公民館や分館・集会所で開催する人権学習会で講師や助言者などとして参画したり、小中学校の勉強会等に関わるなどの活動をしている(活動回数135回)。</p>

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	40
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	コムズフェスティバルにおいて、市民グループ等が主体となり、男女共同参画に関する講演会・学習会等を市民企画事業(旧:市民企画分科会)として実施する。事業の企画立案や準備にあたっては、有識者やセンター職員が男女共同参画の視点からアドバイスを行うとともに、実行委員相互の交流を深める機会とする。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市民企画事業は11団体が選考審査会を経て実施。後日開催した報告交流会では、有識者からの指導助言とともに、今後の活動に向けて情報交換を行った。 また、NPO団体と共催事業を行ったほか、高校生によるイベントを開催し、グループ主体となる男女共同参画に資する企画を実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	市民企画事業は、選考審査会及び報告交流会における有識者による助言や、これまでの継続した団体の参画により、充実した魅力ある内容となっている。また、新規の団体の参画もあり、活動の活性化に繋がった。次年度も、より一層内容の充実した企画を募り、市民団体を発掘していく。 また、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボと共催事業として、「まつやまジェンダーサミット」を開催。高校生イベントでは、愛媛大学附属高等学校による「地域防災」について、他校の高校生や社会人も交え避難所運営や日常生活にジェンダーの問題が潜んでいることを問題提起し、活発な意見交換がなされ、ジェンダーと防災との関わりについて理解を深めることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	41
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	男女共同参画に関する情報の収集及び提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	図書・資料の収集や提供、情報誌「コムズ」の発行、インターネットを活用した広報活動等を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>男女共同参画の視点で書かれた図書等を19分野に分類し配架している。令和6年度の貸出冊数は6,857冊と前年度比106.4%であった。</p> <p>情報誌は、若者のライフデザイン支援事業、まどんな応援宣言事業所をテーマに作成した(年1回発行)。</p> <p>ホームページは、講座案内や図書紹介等、随時更新。</p> <p>市民が探したい情報にアクセスしやすく、時代に合ったユニバーサルデザインになるように、ホームページのリニューアルを行った。</p> <p>各種SNSで、講座の参加募集や随時情報発信を行った(フォロワー数は、令和7年3月末時点でFacebook: 749名、Instagram: 367名、X: 92名、公式LINE: 271名)。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>新型コロナウイルスの感染拡大及びそれによるセンターの休館により減少していた貸出冊数が徐々に回復し、令和6年度はコロナ前の令和元年度より増加した(令和元年度: 6,725冊、令和2年度: 5,608冊、令和3年度: 4,122冊、令和4年度: 5,954冊、令和5年度: 6,443冊、令和6年度: 6,857冊)。</p> <p>SNS(Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、公式LINE)での情報発信により、集客へとつながった。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	42			
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し					
実行項目	2-1-2	固定的性別役割分担意識に基づく社会制度・慣行の見直し					
事業名	男女共同参画に関する各種実態調査						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男女共同参画の推進のために、「男は仕事、女は家事育児」等、性別による固定的役割分担意識等の男女共同参画に関する市民の意識や生活実態について、調査・分析を行う。分析結果は、事業展開や啓発活動の内容等を検討するための基礎資料とするとともに、市民に対し公表する。						
数値目標	実態調査の結果を周知する講座等の開催回数	R5	1回以上	R6	1回以上	R7	1回以上

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	男女共同参画に関する1つのテーマを2年度にわたって調査研究し、報告書等を作成することとしている。1年目である令和6年度は、松山市内の事業所1,512社を対象としたアンケートを作成し、実施、集計を行った。また、出張講座では、松山市在住(住民登録している)の20歳から79歳までの男女3,000人を対象に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」の報告書概要版(令和4年度発行)を配布した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	概要版を出張講座の参加者に配布し、講座の学びに関連する資料データを提供することで、講座の学びがさらに深まった。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	実態調査の結果を周知する講座等の開催回数	2回	200%
-------------------------	----------------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	43(144)			
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し					
実行項目	2-1-3	アンコンシャス・バイアスによる悪影響の解消					
事業名	アンコンシャス・バイアスの解消のための講座						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について学び、無意識のうちに刷り込まれた自分自身のものの見方や捉え方に気づく講座を開催する。						
数値目標	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	R5	3回	R6	3回	R7	3回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	アンコンシャス・バイアスについて、出張講座をとおり事業所に向けて意識啓発を行った。 また、公開講座では、性教育とジェンダーをとおり、「女性は…」「男性は…」というアンコンシャスバイアスに縛られ自分らしい選択ができなくなるといったジェンダーの問題とも密接に関係していることを考える講演会を開催した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に関するアンコンシャス・バイアスによる悪影響は、性別や年代に関わらず全ての人に関係する身近な問題であることを発信し、出張講座、公開講座をとおり事業所の社員や、市民に向けて啓発することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	5回	167%
-------------------------	----------------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)誰もがアンコンシャスバイアスを持っていて、見えていない(認識できていない)ことに気付くことが第一歩だと思う。自分事化できる気づきのワークショップ等をこれまで以上に開催してほしい。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)市男女共同参画推進センターで実施する各種講座や出張講座などでアンコンシャスバイアスに気づくワークショップ等の機会を増やしていきたい。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	44			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実					
事業名	介護予防と認知症サポーターの養成						
担当	長寿福祉課						
事業概要	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループを支援するとともに、認知症高齢者やその家族を優しく見守る支援者を養成する。						
数値目標	ふれあい・いきいきサロン延べ参加者数	R5	108,000 人	R6	67,040 人	R7	67,040 人
	認知症サポーター養成講座受講者数		5,000 人		4,500 人		5,000 人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和5年4月から支援を開始した「ふれあい・いきいき緩和型サロン」の周知活動を積極的に行い、従来のサロン数は減少したものの、緩和型サロンは、令和6年度立ち上げ目標数75サロンを超える76サロンが活動を開始した。また、認知症の方やその家族を見守る支援者を養成するため、認知症サポーター養成講座を82回開催し、4,886名が受講した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	コロナ禍を経た生活スタイルの変化やお世話人の高齢化等が原因で、サロン数が減少したことに伴ってサロン延べ参加者数が減少していることが課題となっている。 従来のサロンでは活動が継続できなかったが、従来のサロンの登録条件を緩和した「緩和型サロン」に移行することにより活動を継続できたグループも複数あり、介護予防活動の継続を推進することができた。引き続き、性別に捉われず誰にとっても参加しやすいように普及啓発に努めていきたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	ふれあい・いきいきサロン延べ参加者数	67437 人	101%
	認知症サポーター養成講座受講者数	4886 人	109%

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)ふれあい・いきいきサロンをお世話する人の高齢化が原因で、サロンが減少しているが、脳トレに特化したサロンは、多くの高齢者が希望する傾向があり、また、認知症サポーターの必要性は高い。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)松山市ふれあい・いきいきサロン活動支援事業では、登録条件として介護予防体操か脳トレーニングのどちらかまたは両方を実施することになっており、参加者が脳トレーニングを選択して実施することが可能である。また、そのほかの時間は趣味活動など自由に活動することができる。いただいたご意見は今後の事業実施の参考にします。また、今後も、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーター養成に努めます。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	45			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実					
事業名	ファミリー・サポート・センター(介護)						
担当	長寿福祉課						
事業概要	ファミリー・サポート(介護)は、介護について、援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動(食事の準備や後片づけ、部屋の掃除や衣類の洗濯、留守見守りや話し相手)が円滑に行われるように調整する。						
数値目標	援助を行った年間活動件数	R5	5,000 件	R6	5,500 件	R7	0 件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	公益財団法人松山市男女共同参画推進財団に委託し、ファミリー・サポート(介護)の活動を支援した。令和6年度の廃止事業の為、新規会員募集を停止し、既存利用者に民間サービスの情報提供を行い、利用者の移行を促した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	高齢者に対する軽易な介護等の援助を対象とした会員同士の相互援助活動を支援したが、提供サービスは行政以外でも提供は可能であることから、利用者の移行を行い、令和6年度末をもって事業の廃止を行った。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	援助を行った年間活動件数	3766 件	68%
-------------------------	--------------	--------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)事業廃止となったが、松山市社協の在宅支援の協力会員制度との情報共有が必要。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)市社協の地域福祉サービスの周知に努める。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	46			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実					
事業名	障がい者総合相談窓口事業						
担当	障がい福祉課						
事業概要	障がい者等からの訪問や電話による相談に対し、福祉サービスの利用援助や就労支援等、必要な支援を行う。また、企業や市民に対し、発達障がいについて広く啓発研修を実施する。						
数値目標	総合的・専門的な相談支援の実施件数 (委託相談支援分を含む)	R5	22,000 件	R6	22,000 件	R7	22,000 件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	本庁別館1階の福祉・子育て相談窓口内に設置した「障がい者総合相談窓口」で、身体・知的・精神の3障がいに加え、発達障がいや高次機能障がい、難病などに対応した相談支援を行った。(令和6年度支援件数:8,303件)また、事業者を対象に発達障がい者や就労支援に関わる研修会を開催したほか、地域の相談機関との連携強化に向けた検討会や連絡会を5回実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。(性別でイメージを固定化するようなイラストを使用しないなど) 【成果】令和6年度支援件数8,303件。性別に捉われず、多様性を尊重しながら相談者に寄り添った対応をした。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	総合的・専門的な相談支援の実施件数(委託相談支援分を含む)	30054 件	137%
-------------------------	-------------------------------	---------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	47			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実					
事業名	外国人に対する生活サポートボランティア						
担当	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)						
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制のサポートボランティアを同行させ、サポートを行う。						
数値目標	MICボランティア登録者数 (旧:生活サポートボランティア)	R5	200人	R6	180人	R7	190人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	外国人市民からの相談に対し、必要に応じてボランティア登録者に同行してもらい、サポートを行っている。クリニックや健康診断など医療同行サポートが、16件・ボランティア協力者20人、運転免許センターでの免許証の切り替えや日本語の授業のサポートなど日常生活サポートが、18件・ボランティア協力者32人。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男女の区別なく登録者を募集しており、男女共同参画への配慮はされている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	MICボランティア登録者数 (旧:生活サポートボランティア)	197人	109%
-------------------------	-----------------------------------	------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	48
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	在宅医療・介護連携推進事業			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の在宅医療に関わる医療・介護関係者が円滑に連携するための仕組み作りに取り組むとともに、在宅医療や介護に関する相談窓口を広く周知する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>11月3日に在宅医療・介護連携推進事業 市民公開講座を開催し、地域包括ケアシステム構築に向けての市の取り組みや、在宅医療や介護についての相談窓口、医療や介護が必要になっても在宅で暮らすための支援等について周知したほか、介護・医療の事例集を改訂し市有施設等で配布した。</p> <p>また、在宅医療に関わる医療・介護関係者が円滑に連携するための仕組み作りとして、市が作成している連携ツールについての周知を行い、活用状況調査を実施し結果を市ホームページに公表した。</p> <p>さらに、事業の課題や対応策について検討するための会議を開催した。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	市民公開講座の実施や事例集の配布等、性別に捉われず事業を実施し、市民に在宅医療や介護について周知することができた。引き続き、性別に捉われないこと、広く市民に周知していきたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。在宅医療と介護を考える機会の勉強会を各地区でもっと多くの人に啓発し、地域包括ケアシステムの構築に向けて企画してほしい。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>(R5)シンポジウムの参加者や事例集の配布対象に性別の要件を設けていない。地域の通いの場や地域包括支援センターが実施する家族介護教室等、在宅医療・介護、地域包括ケアシステムや人生会議等についての講話を実施している。</p>

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	49(21,26)
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	地域包括支援センター運営事業【再掲】			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを運営する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを設置し、社会福祉法人や医療法人など13法人に運営を委託した。</p> <p>地域包括支援センターでは、高齢者やその家族などから年間、約35,700件の相談があった。また、関係機関との連絡会を126回開催したほか、地域の行事に772回参加するなど、地域のネットワークを構築するため、医療機関や介護事業所、民生委員などと連携を図った。</p> <p>また、長寿福祉課内には、基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センター間の連携や専門職の部会を11回、研修会を5回行うなど各職員のスキルアップを図ったほか、運営協議会の意見を踏まえたうえで、公正中立性を担保するための事業評価を行った。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>性別に捉われず、様々な相談に対し、適正な相談支援を行った。</p> <p>住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、地域における関係者とのネットワークの構築を図った。</p> <p>高齢者虐待に対する相談、通報に関し、地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターが連携をとり、対応した。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
(R5)相談者に性別の要件を設けておらず、相談者に寄り添った対応を行っている。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	50(22)
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	高齢者いきいきチャレンジ事業【再掲】			
担当	長寿福祉課			
事業概要	市内在住の65歳以上の高齢者を対象とし、外出機会の創出、身体機能の低下の防止及び健康寿命の延伸につなげる事業。市が指定するイベントに参加し、スマホを使用してポイントを貯めると道後温泉別館飛鳥乃湯泉に入浴できるほか、電子マネーのPayPayにも交換できる。スマホを持っていない方は紙のカードにスタンプを貯めて道後温泉別館飛鳥乃湯泉の入浴券と交換できる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年5月にアプリの登録やスマホの使い方などを気軽に相談できるよう「いきいきチャレンジ健康アプリ相談窓口」をまつちかタウンに開設した。また、事業対象イベントを34回実施し、高齢者の健康づくり、介護予防、外出機会の創出につながった。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	アプリ登録者は男性が4割、女性が6割となっている。令和6年度は、広報紙や広報番組を活用し、幅広く周知を行ったほか、相談窓口の設置やスマホ教室の開催など、男女問わず気軽にアプリやスマホを利用できるよう取り組んだ。令和7年度も相談窓口や対象イベントを拡充し、引き続き、高齢者の外出機会の創出などにつなげていきたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	51
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	障がい児相談窓口事業			
担当	障がい福祉課			
事業概要	子どもの発達で気になること、不安に感じていること、子ども自身の悩み等、相談の内容に応じて、各種支援サービスの申請に関する助言、サービスを受けるための調整まで、障がいの有無や種別を問わず、子どもの発達につながる支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	松山市ハーモニープラザ3階に設置した「こどもの相談室ふらっと」で、概ね18歳までの子ども及びその保護者を対象に、福祉サービスの利用等に関する相談や障がいの理解に関する支援など、子どもの発達に関する相談支援を行った。(令和6年度支援件数:3,580件)
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。 【成果】支援件数3,580件。事業実施の際には性別のみならず、あらゆる面で平等な取り扱いを実施した。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)配慮度に対する課題・成果を修正した。 【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。 【成果】支援件数 4,240件 事業実施の際には性別のみならず、あらゆる面で平等な取り扱いを実施している。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	52
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	障がい者相談支援事業			
担当	障がい福祉課			
事業概要	身体・知的・精神などの障がい者、難病患者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、関係機関と連携して必要な支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市内北部と南部に設置している「障がい者地域相談支援センター」で市在住の障がい者、支援関係者等からの相談に対し、それぞれの障がい者に応じた適切な援助を行った。(令和6年度支援件数:北部8,884件、南部12,867件)また、地域の相談機関との連携強化に向けた検討会や連絡会を5回実施した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。 【成果】令和6年度支援件数 北部8,884件、南部12,867件。性別に捉われず、多様性を尊重しながら相談者に寄り添った対応をした。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)配慮度に対する課題・成果を修正した。 【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。 【成果】令和5年度支援件数 北部8,094件、南部14,315件、性別に捉われず、多様性を尊重しながら相談者に寄り添った対応をしている。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	53
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	精神保健福祉事業			
担当	保健予防課			
事業概要	精神障がい者の家族に対する家族教室等の開催や精神保健福祉に関する情報の周知啓発を行い、市民の心の健康づくりを推進する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	精神障がい者の家族に対する教室を年6回開催し、メンタルヘルスや地域の社会資源の活用について情報を得る機会を提供し、延168人の参加があった。こころの健康フォーラムでは、地域住民の理解を深めるため精神疾患に関する研修を行い、96名の参加があった。また、専門の相談員が孤立しがちな精神障がい者等の悩みや不安の相談に応じ、その解消を図る家族相談を月1回開催し、延9人の参加があった。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	家族教室の参加者は中高年の女性が多いため、若年・壮年期の方や男性が参加しやすいような工夫が必要である。参加者アンケートを行い、事業運営に参加者からの意見を取り入れることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	54			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援					
事業名	若者の正社員化及び就労訓練						
担当	ふるさと納税・経営支援課						
事業概要	雇用情勢は改善しているが、若年者を取り巻く雇用環境は依然として厳しく、非正規雇用のままで年齢を重ね、本来正社員として習得すべきキャリアが形成されていない若者が増えていることから、公共職業訓練校の受講生に対し、日額(交付要綱で定める)に通学日数を乗じた金額を職業訓練奨励金として支給し、経済的支援を行う。また、その認定を受けた訓練生を正規雇用した事業所を対象に雇用の奨励金を支給する。						
数値目標	訓練奨励金認定者の正規雇用者数※累計	R5	14人	R6	28人	R7	42人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	公共職業訓練を受講する一定要件を満たした若年者に対し、訓練期間中に職業訓練奨励金を支給し、経済的支援を行った。また、職業訓練奨励金の認定を受けた訓練生を正規雇用した事業所に対し、雇用奨励金を支給し、若年者の正社員化を支援した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に捉われず職業訓練を受講する求職者を支援し、就職につなげることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	訓練奨励金認定者の正規雇用者数※累計	15人	54%
-------------------------	--------------------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	55
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	市民からの各種相談への対応			
担当	市民生活課			
事業概要	弁護士、司法書士、ファイナンシャルプランナーが専門的な相談に応じる。 弁護士相談：第1～4水曜日、司法書士相談：第1木曜日、ファイナンシャルプランナー相談：第1火曜日に実施			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	弁護士、司法書士、ファイナンシャルプランナーが多重債務相談など専門的な相談に応じた。 【令和6年度実績】 弁護士相談：660件、司法書士相談：53件、ファイナンシャルプランナー相談：18件
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	市民からの相談を的確に把握し、専門家による相談等につなげることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	56
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	生活困窮者自立支援事業			
担当	生活福祉総務課			
事業概要	生活困窮者の生活基盤の安定を図るとともに社会的経済的自立を目指すため、生活保護に至る前のセーフティネットを構築、自立に向けた相談支援、住居確保のための支援金給付などを行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>生活困窮者に対し、自立に向けた相談や自立プランの作成等を行うほか、住居確保のための支援給付を行うことで生活基盤の安定を確保するとともに、社会的・経済的な自立と生活向上を図った。</p> <p>(内訳) 生活困窮者自立相談支援事業等委託料 30,156千円 住居確保給付金 1,646千円 その他経費 75千円</p> <p>生活困窮者自立相談支援状況 ○新規相談件数 680件 ○自立プラン作成件数 81件 ○住居確保決定件数(延長含む) 16件 ○就労支援対象者数 65人</p>			
------------	--	--	--	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>【課題】相談窓口や支援内容の情報をHP等の媒体を利用して、住民に分かりやすく発信し、相談窓口利用向上に努めていきたい。</p> <p>【成果】生活に困窮する市民の方からの相談について、一人一人の状況に応じ、課題の解決に向けた支援プランを作成し、支援プランに基づいて、関係機関等と連携し、自立に向けた支援に努めている。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	
(R5)配慮度に対する課題・成果を修正した。 【課題】相談窓口や支援内容の情報をHP等の媒体を利用して、住民に分かりやすく発信し、相談窓口利用向上に努めていきたい。 【成果】生活に困窮する市民の方からの相談について、一人一人の状況に応じ、課題の解決に向けた支援プランを作成し、支援プランに基づいて、関係機関等と連携し、自立に向けた支援に努めている。	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	57
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	生活保護支給事業			
担当	生活福祉総務課			
事業概要	生活に困窮する全ての市民に対し、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市民の最低生活を保障するため、生活保護費を支給した。 支給した延べ人員: 390,635人、生活保護費(扶助費): 19,515,096千円 (内訳) 生活扶助 延べ人員: 112,399人、扶助費: 5,120,830千円 出産扶助 延べ人員: 1人、扶助費190千円 住宅扶助 延べ人員: 119,252人、扶助費: 3,193,955千円 生業扶助 延べ人員: 1,711人、扶助費24,726千円 教育扶助 延べ人員: 5,037人、扶助費: 46,311千円 葬祭扶助 延べ人員: 296人、扶助費45,579千円 介護扶助 延べ人員: 33,556人、扶助費: 621,371千円 就労自立給付金 延べ人員: 91人、扶助費3,950千円 医療扶助 延べ人員: 118,257人、扶助費: 10,450,684千円 進学準備給付金 延べ人員: 35人、扶助費: 7,500千円			
------------	---	--	--	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	生活に困窮する市民の方からの相談について、性別に関わらず、国民の権利であることを周知して、申請・相談しやすい雰囲気づくりに努めている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
(R5)「性別に捉われず」「性別に関わらず」どの様に事業を行っているか、わかりやすく記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
(R5)生活に困窮する市民の方からの相談について、国民の権利であることを周知して申請・相談しやすい雰囲気作りに努めている。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	58
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	松山市子ども健全育成事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	貧困の連鎖を防止するため、生活保護世帯を含む低所得者世帯等の中学生に対し学習の場を提供することにより、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図るとともに、進学を目指すことで将来の選択肢が広がるよう、社会的自立を支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	毎週土曜日に市内3か所で「松山市子ども健全育成事業(土曜塾)」(松山市青少年育成市民会議へ委託)を実施。学習の場を提供し、学習支援を通じて学習習慣の定着と学力向上を図るとともに、他者との交流を通じて社会性の育成を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加登録者152名(ひとり親世帯126名、低所得者世帯26名)、延べ1,999人の参加。 参加した中学3年生の高校進学率が13年連続100%と、学習の場としての成果があがっているほか、大学生サポーターとの触れ合いによって、心の成長にもつながっている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)毎週土曜日、市内3か所での「土曜塾」はひとり親家庭等の学習の場として成果が上がっているが、委託する相手方との話し合いをもっと密にし、場所も3か所以上に増加して欲しい。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)土曜塾運営のための話し合いや情報連携は、委託業者と密に行っている。実施場所の増加については、対象世帯へのアンケートで、「西部地区に会場があると参加しやすい」と声を多くいただいたため、令和7年度から新たに西部を加え、市内4か所で実施する。

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	59			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-3	多様性を尊重し相互理解を促進する取組の実施					
事業名	平和への取り組み						
担当	市民生活課						
事業概要	「北京宣言及び行動要領」で示された「平等・開発・平和」の目標を達成するため、本市では戦争遺品を展示する「平和資料展」や、市文化財となった「掩体壕」を活用し、平和の尊さや大切さについての理解を広げていく。						
数値目標	平和資料展の来場者数	R5	6,300人	R6	6,300人	R7	5,000人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>【平和資料展】令和6年7月23日～29日に松山市総合コミュニティセンターで開催した。松山市が保管している戦争遺品や市民から寄贈していただいた遺品、写真やパネルを展示し、平和に関するビデオを終日上映した。</p> <p>【掩体壕】平成30年5月に掩体壕が松山市指定文化財に指定され、令和2年度に保存整備工事を実施し、令和2年11月28日から一般公開をした。令和6年度は約95名の方が見学した。</p> <p>【掩体壕と資料展見学会の実施】小中学生・保護者を対象に見学ツアーを令和3年度から実施。令和6年度は6組14名が参加した。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>掩体壕の利活用、平和資料展を実施して戦争を知らない若い世代(小中学生)に対して、平和の尊さや大切さを伝えていく。</p> <p>平和資料展来場者数約4,200人となり、令和5年度来場者数約5,800人より減少したが、小中学生を中心に戦争の悲惨さや尊さを伝えることができた。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	平和資料展の来場者数	4200人	67%
-------------------------	------------	-------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	60			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-3	多様性を尊重し相互理解を促進する取組の実施					
事業名	国際性豊かな人づくり						
担当	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)						
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。 ※(公財)松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹・友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生世界体験プロジェクト(旧:中学生チャレンジプロジェクト)」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。						
数値目標	中学生海外派遣者数	R5	1,600 人	R6	1,630 人	R7	1,660 人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	応募者を選考の上、アメリカ・サクラメント市へ中学生男子2名・女子8名、ドイツ・フライブルク市へ男子5名・女子5名、韓国・平澤市へ男子2名・女子8名を派遣した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	選考は、男女の区別はなく、面接審査等の得点の順に行っており、男女共同参画への配慮はされている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	中学生海外派遣者数	1630 人	100%
-------------------------	-----------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	61(142)
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-3	多様性を尊重し相互理解を促進する取組の実施		
事業名	教職員研修事業(性の多様性)			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	人権・同和教育主任研修や教職員の経験年数に応じて実施する研修で、性の多様性を正しく認識し、性的少数者に対する偏見や差別意識の解消を進めるとともに、自他の人権を認め合う教育を行うために、「松山市人権啓発施策に関する基本方針」に基づき、教職員への研修を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>教職員の経験年数に応じて実施する研修では、「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)と男女共同参画～一人一人の個性や能力をいかんなく発揮できる社会へ～」と題し、松山市男女共同参画推進センター館長に御講義いただいた。また、動画視聴にて、学校での性差によらない対応等の内容を含む人権・同和教育についての研修を行った。人権・同和教育主任研修では、聖カタリナ大学助教を講師に迎えジェンダー教育について研修を行った。対面での研修は延べ280名、動画での研修は54名が受講した。受講者からは、「多様な性の在り方について詳しく学ぶ機会となった」「自分の身近なところにもつらい思いをしている人がいるかもしれない」「実際にどのような立場に置かれているのか、何に困っていて、どうしてそれが見えづらいのかについて改めて学ぶことができた」という感想が聞かれた。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>アンケートによると、「どの研修でも新しい知見を得られた」「学校の教育活動に生かせる」等、99%の受講者が肯定的な回答をしており、性に関する正しい認識や学校での対応に関する知識への理解には一定の成果がある。また、動画研修等を取り入れ、受講しやすいよう配慮できた。今後も、学校現場のニーズを捉えながら、お互いが多様性を理解し、安心して過ごせる学校づくりを推進するための研修を企画、運営していく。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	62			
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大					
実行項目	3-1-1	審議会等への女性の参画促進					
事業名	女性登用率の向上促進						
担当	人権・共生社会推進課						
事業概要	市の施策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、本市の審議会等への女性の参画を進める「女性登用計画」を策定し、計画的に登用を進める。また、様々な分野で活躍する女性を登録した「松山市女性人材情報リスト」の充実を行う。						
数値目標	女性登用率	R5	50 %	R6	50 %	R7	50 %

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	各課等が委員委嘱を行う際、人権・共生社会推進課を合議先としてもらい、登用率の推移を随時確認した。登用率が40%未満の審議会等については、委嘱起案の前に事前協議を行い、理由や今後の対応について協議した。女性人材リストを管理し、女性委員の人選について、希望のあった課に提供した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	各課等の取組により、女性登用率は過去最高となった。一方で、審議会等ごとの女性登用率にはばらつきがあり、極端に女性登用率が低いものもあることから、今後より一層の取組が必要である。今後は、登用率のみではなく、会議の場で平等に発言できる環境であるかなど、より踏み込んだ視点を検討する必要がある。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	女性登用率	46.5 %	93%
-------------------------	-------	--------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)これまで以上に、早期よりジェンダーレスで様々な役割、経験をしていただくことが重要かと思う。加えて男性の本音にも耳を傾けることで新たな課題も見えてくるのではないかと。数値評価に加え、当事者の意見を具体的に反映するとよいと思う。実際に、審議会等に参加しての発言がしやすい環境になっているかまでに踏み込んだ対応が必要ではないか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)いただいた意見を参考に、課題の把握に努め、女性登用率向上に取り組む。

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	63			
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大					
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進					
事業名	市女性職員の職域拡大および管理職の登用促進						
担当	人事課						
事業概要	定期人事異動で女性職員の職域拡大を引き続き実施するとともに、女性職員の管理職登用の促進に努める。						
数値目標	管理職(課長級以上)に占める女性職員の割合の向上	R5	12%以上	R6	12%以上	R7	12%以上

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>定期人事異動での女性職員の職域拡大について検討を実施 女性職員向けキャリアデザイン研修を実施(令和6年度参加人数:24名(教職員3名含む)) 自治大学校地方公務員女性幹部養成支援プログラムに女性職員を派遣(令和6年度1名) 女性登用に対する意識改革と、女性の力が十分に発揮できる職場風土の醸成、男女ともに活躍できる組織づくりのため、女性活躍に関する研修を新任課長級職員向けに実施</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>上記取組は内部で情報共有したほか市HPでも公表し、市全体の男女共同参画の取組みを推し進めた。各研修で受講後アンケートを実施し、受講者の声を次年度の事業改善に反映させた。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	管理職(課長級以上)に占める女性職員の割合の向上	11.2%	93%
-------------------------	--------------------------	-------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>(R5)数値評価に加え、当事者の意見を具体的に反映するとよいと思う。実際に、会議等の場で平等な発言ができてきているのか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>(R5)面談や研修等を通じて女性職員の意見を集め、その意見を反映しながら女性職員活躍の取組みを進めたい。会議での女性職員の発言状況に関するデータはないが、今後、女性活躍に関する研修等で、性別に関わらず発言機会を平等にすることの重要性についても周知したい。</p>

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	64
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	インターンシップ及び市役所業務説明会等の実施			
担当	人事課			
事業概要	多様な人材を確保するため、インターンシップや業務説明会を通じて、広く学生に対して市行政についての理解を深める機会を提供する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	多様な人材を確保するため、インターンシップでは、昨年度に引き続き、技術職向けのコースを拡充するなどして実施した。また、業務説明会をオンライン・対面でそれぞれ開催するとともに、新たに「業務相談会」や「技術職向けの仕事相談窓口」を設けるなど、学生等が職員と直接対話ができる機会を設けるなど、学生等の多様なニーズに対応できる方法で、広く市政情報や業務内容等についての理解を深める機会を提供した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	近年、採用試験の申込者が減少傾向であり、技術職を中心に採用予定人数を確保できていないため、松山市役所で働くことに関して興味を持っていただく機会を増やす必要がある。インターンシップについては、県内外を問わず多くの学生に参加いただき、松山市役所業務への理解を深める機会を提供することができた。業務説明会については、オンライン開催により遠方に住む学生等に対しても広く周知できた。また、対面開催では、松山市に興味がある学生等に若手職員との交流の場を提供し、業務内容に加えてやりがいや働き方など、学生等が知りたい情報を提供できた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ~多様な意見が反映される社会を目指します~	通番	65
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画の推進			
担当	人事課			
事業概要	女性活躍推進法に基づいた特定事業主行動計画を策定し、女性職員の活躍推進に向けた取り組みを行う。行動計画に沿って取り組むことで、女性職員だけでなく、男性職員にとっても働きやすく、働き甲斐のある職場環境の構築を目指し、組織力の強化を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>松山市特定事業主行動計画に基づき、すべての職員が働きやすく働きがいのある職場づくりを推し進めた。令和6年度の主な取組は下記のとおり。 出産・子育てに関する説明会の実施に加え、男性職員の育児休業取得をより推進するために、各種制度が利用しやすい職場環境づくりを目指して、管理職研修で周知・啓発を行った。 新規採用職員の研修で、各種制度の説明を実施し、積極的に育児参加をする職場風土の醸成に努めた。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>上記取組は内部で情報共有したほか市HPでも公表し、松山市特定事業主行動計画に基づき、すべての職員が働きやすく働きがいのある職場づくりを推し進めた。 配慮度の項目⑤の取組が十分ではないので、職員へのアンケートや意見聴取の実施を検討していきたい。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ~多様な意見が反映される社会を目指します~	通番	66
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	男女共同参画に関する研修制度の充実			
担当	人事課			
事業概要	女性の活躍推進や人権に関する研修を実施する。また、出産・育児支援説明会を開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>女性職員向けキャリアデザイン研修を実施(令和6年度参加人数:24名(教職員3名含む)) 自治大学校地方公務員女性幹部養成支援プログラムに女性職員を派遣(令和6年度1名) 女性登用に対する意識改革と、女性の力が十分に発揮できる職場風土の醸成、男女ともに活躍できる組織づくりのため、女性活躍に関する研修を新任課長級職員向けに実施 各階層別研修で人権に関する講話を実施 出産支援育児説明会を開催(令和6年7月:41名申込、令和7年1月:37名申込 ※同時に受講した新採職員を除く)</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>上記取組は内部で情報共有したほか市HPでも公表し、市全体の男女共同参画の取組みを推し進めた。各研修で受講後アンケートを実施し、受講者の声を次年度の事業実施の参考としている。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ~多様な意見が反映される社会を目指します~	通番	67(131)			
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大					
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進					
事業名	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業						
担当	市民防災安全課						
事業概要	産官学民が連携し、小学校から高齢者まで切れ目なく防災教育を行い、災害に強い人づくり・まちづくりを行う。男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を進め、誰もが住みやすいまちを目指す。						
数値目標	男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を実施する。	R5	80回	R6	80回	R7	80回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	小・中・高校生で結成されているジュニア防災リーダークラブでは、発足式を始め、工事現場の見学会や防災まち歩き、防災キャンプなど、年間を通して様々な防災教育を行った。マイ・タイムラインの普及で風水害での逃げ遅れゼロを目指す「逃げ遅れゼロプロジェクト」では、マイ・タイムラインアプリを運用するとともに、松山市立の中学1年生約4,000人に対してWeb版マイ・タイムライン作成授業を実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	ジュニア防災リーダークラブでは、11回のイベントを実施。延べ約410人が参加し、防災の知識や意識を深めることができた。そのうち、防災マップ作りや防災デイキャンプでは、避難行動や救助技術などの防災活動を行ううえで、男女共同参画の視点を取り入れることの重要性を伝えた。デジタル版マイ・タイムラインについて、男女問わず、全ての市立中学1年生に授業を実施することで、逃げ遅れをゼロにするための意識を持たせるとともに、防災の知識を深めることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を実施する。	80回	100%
-------------------------	------------------------------	-----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ~多様な意見が反映される社会を目指します~	通番	68			
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大					
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進					
事業名	女性の活躍推進(ジョカツ)						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	各方面で活躍する女性リーダーの育成及びネットワークづくりを行うとともに、ロールモデルや取り組みを紹介するなど女性の活躍推進(ジョカツ)の機運醸成を図る。						
数値目標	ジョカツ関連講座等の開催回数	R5	1回	R6	1回	R7	1回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	「キャリアと暮らしの充実講座」では、市内で活躍するロールモデルとなる女性を講師に、2回講座を行った。講座をとおし、自分自身が望む働き方を考えることで、自分らしいキャリアや暮らしをつくっていきけるよう一歩を踏み出すきっかけを提供した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加人数を増やし、若い世代の参加も引き続き促すために、SNSを活用した広報活動に取り組んでいく。松山で活躍する女性(経営者、NPO代表、起業した方)を講師として招聘することで、女性リーダーのロールモデルを提示することができた。 また、パラレルキャリアをとおし、さまざまな暮らし方、生き方もあることも学ぶきっかけを提供できた。 ※パラレルキャリア:本業と並行して自分の好きな分野で第2の活動すること		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	ジョカツ関連講座等の開催回数	2回	200%
-------------------------	----------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	69			
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大					
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進					
事業名	人材育成に関する講座						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男女共同参画について基本的な知識を有し、家庭・地域・職場など様々な場で、男女共同参画の視点を持って活動することができる人材を育成するために講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	200人	R6	200人	R7	200人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>「キャリアと暮らしの充実講座」 市内で活躍するロールモデルを講師に、2回講座を行った。</p> <p>「公開講座」 自身の生き方、ジェンダーのあり方について考えることを目的に、県外講師を招いての講座を開催した。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>市外で活躍する方(経営者、NPO代表、起業した方)を講師として招聘することで、ロールモデルを提示することができた。また、好きなことを仕事にすること、パラレルキャリア、自身のキャリアや夫婦関係など、自分らしい生き方について考える機会を提供できた。</p> <p>(※パラレルキャリア:本業と並行して自分の好きな分野で第2の活動をする事) 開催方法は、来場参加に限らず録画配信も実施。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	430人	215%
-------------------------	------	------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	70(129)			
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大					
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進					
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)						
担当	地域消防推進課						
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。						
数値目標	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	R5	37 地区	R6	37 地区	R7	37 地区

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年度中に松山市内の39地区すべてで地域の訓練への参加や防災研修会などを実施した。そのほか、女性の視点を活かした避難所運営訓練や炊き出し訓練等も積極的に実施し、非常事態に備えている。さらに、各地区の保育園や幼稚園、児童クラブへ出向き、紙芝居などを利用して防火防災教育などの啓発活動を行っている。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	女性で構成される団体であるが、性別で制限される活動ではないため、男性の参画についても協議すべきである。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	39 地区	105%
-------------------------	--------------------------------------	-------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	71(132)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	防災ひとづくり地域創生事業			
担当	市民防災安全課			
事業概要	大学生防災士の養成や「防災リーダークラブ」の活動支援を行うことで、若い世代の防災リーダー育成を図る。また、「防災」を通じて大学生と地域や地元企業をつなげることで、地域の活性化を目指す。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	愛媛大学と連携し、短期集中講義「環境防災学」を実施し、大学生の防災士を養成するとともに、防災に関する知識を向上させることができた。 防災リーダークラブについて、学校や地域に対する防災活動を随時支援した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	環境防災学では153人が防災士資格に合格し、大学生防災士を養成することができた。 防災リーダークラブの防災活動は計61回実施し、学校や地域での防災力の向上に貢献した。 環境防災学の受講者に対しては、アンケートや意見聴取する機会がないが、防災リーダークラブ員には今後の方針等、意見を交換する場を設けている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	72(154)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、親子対象講座、高齢者の社会参加の促進等、対象を明確にし、さまざまなテーマ設定で講座を開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>「ファミリー・キッチン」(全2回): 家族でお菓子づくり / 子育てパパの料理教室</p> <p>「親子で学ぼう～理科好き女子は愛媛大附属高に集合!～」: 理系女子育成講座</p> <p>「子育てアップデート! ママとパパの”ゆとり”づくり」(全3回): 子どもの自己肯定感 / 性教育 / 子育て</p> <p>「暮らしのスキルアップ講座」(全2回): 片付け / 防災</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>参加人数の増加とともに、性別・年代を問わず多様な層に参加いただくために、チラシや広報紙、SNS等を活用し、より一層広報活動に取り組んでいく。</p> <p>ジェンダー平等の考え方を広げるために、市民の興味関心をそその内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	73
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	地域における男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	女性の様々な生き方や男女共同参画の視点で作られた映像作品を上映したり、各種催事に出展したりすることで、女性の能力活用や男女共同参画についての意識啓発を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>県民大会や人権啓発フェスティバルといった県/市主催の催事に参加し、パネル展示を行った(3回)。 「夏休み映画祭」(第1週)では、四国初の女子硬式野球チーム「マドンナ松山」選手によるミニトークと、映画の上映会を行った(77人)。映画は、「女の子だから」と周囲に反対されたり冷やかしかに合いながらも、プロ野球選手になることを夢見て練習に励んでいた女子高生の主人公が、逆境に負けずプロテストに挑む姿を描いた韓国映画『野球少女』を上映した。 「夏休み映画祭」(第2週)では、親子向け作品を上映し、併せて、松山東雲女子大学 心理子ども学科 子ども専攻の学生グループ「子どもキャラバン」によるおはなし会を実施した(200人)。また、「夏休み映画祭」(第2週)は、松山市新玉児童館との共催で、8月8日のまつやま子どもの日に実施した。 コムズフェスティバル映画祭では、妻を不慮の事故で亡くし、幼い息子を男手一つで育てる不器用な父と、周囲の人情に支えられて成長していく息子の感動の絆の物語である、映画『とんび』を上映した(179人)。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
チェック欄		

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>催事の出展により、当センターの取組を知らない市民に向けて事業の周知を図ることができた。 映画上映会のアンケートでは、「ファーストペンギンの様に道を拓いていく姿に感動しました。女子スポーツ選手を心から応援したいと思いました。」「不器用な父親の姿がとても良かったです。親ということの意味などが考えさせられました。」など、映画の内容から、男女共同参画について考えていただくことができた。また、未就学児向けの映画上映会では、会場設営や企画を工夫し、多くの親子連れに気軽に参加していただくことができた。 パネル展示の出展に加えて、今後は、各種SNSを活用した意識啓発を内容とする情報発信も積極的に行っていく。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	74
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	まつやま農業者セミナー			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	女性の感性を活かした魅力ある農村作りに貢献できる環境整備を行うため、家族経営協定を締結した農家及び農業委員・関係機関を軸とした声掛けをし、男女農業者の交流、意見交換の場として、まつやま農業者セミナーを開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>【日時】令和7年3月7日 【場所】西宇和郡伊方町，八幡浜市北浜 【内容】研修会・情報交換会 ①田縁農園 「柑橘園地の栽培状況とAI選果機等の活用状況について」 ②八幡浜支局地域農業育成室・産地戦略推進室 「最近のカメムシの発生状況と防除対策について・バードソニックを利用した鳥害対策について」 【参加者】16名</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>家族経営協定を通して男女がともに対等な立場で話し合い、農業経営の合理化や、今度の農業経営の更なる発展を図り、家族経営協定締結者間の情報交換や交流が深められた。 若年層の参加者が少ないので、一層の啓発や実施方法を見直す必要がある。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	75			
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大					
実行項目	3-2-2	地域活動への参画促進					
事業名	地域のまちづくりへの女性参画促進						
担当	まちづくり推進課						
事業概要	「まちづくり協議会」では、様々な地域団体や企業、NPOなどの多様な主体が集まり、地域のまちづくりに関する話し合いや取り組みを行っている。今後、地域のまちづくりを一層充実したものにしておくためには、さらなる女性の参画が不可欠である。地域のまちづくりを支援する観点から、各地域で女性が参画しやすい環境づくりに取り組む。						
数値目標	「まちづくり講座」の開催など、まちづくりに関わる女性の活動支援につながる機会の提供	R5	2回以上	R6	2回以上	R7	2回以上

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	「まちづくり協議会」では、様々な地域団体や企業、NPOなどの多様な主体が集まり、福祉、環境、地域交流、教育など、多岐にわたる地域のまちづくりにおいて、男性、女性それぞれの視点で話し合いや取り組みが行われ、そういった各協議会の活動を継続的に支援することができた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	ほとんどの協議会で女性の事務員を雇用しており、協議会の運営に関わっている。また、役員会をはじめとした協議会執行部門において、男女比率が同等となる地区や、女性が幹部を務める協議会が増えている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	「まちづくり講座」の開催など、まちづくりに関わる女性の活動支援につながる機会の提供	2回	100%
-------------------------	---	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
①(R5)各協議会によって、女性役員比率に違いがあるので、それをどのように是正していくかについて、具体的な方策を記載してはどうか。 ②(R6)女性の参画が進んでいるようで期待がもてる。協議会執行部門における男女比率が同等となる地区や、女性が幹部をつとめる協議会がどの程度(全体に占める割合)あるか。	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	
①(R5)担い手不足解消の一つの方策として、協議会における女性参画を推進するよう啓発していきたい。 ②(R6)全部で31の協議会のうち、役員女性の比率50%以上が1地区、40%以上が2地区、30%以上が7地区ある。また、令和7年度から、新たに2地区で女性の会長が就任した。	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	76
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-3	地域で活動する団体等の支援・連携促進		
事業名	市民活動団体等に対する支援・連携促進			
担当	まちづくり推進課			
事業概要	市内全域において公益活動を行っている、NPO等市民活動各団体に対し、支援を行い、連携を促進する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	NPOが活動するための支援として、補助金交付事業を実施し、審査会を2回開催した。 7月の審査会では、審査員2人中1人が女性、3月の審査会では審査員5人中3人が女性で構成され、審査において多角的な視点を取り入れることができた。 また、補助金を交付したNPOにおいても、多くの女性役員が参加しており多角的な視点を取り入れた取組みが見られた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	市民活動の適正かつ円滑な推進を図るため「市民活動推進委員会」を設置しており、その委員の女性割合は75%(8人中6人)であり、多くの女性が活躍している。 また、補助金を交付したNPOにおいても、女性のキャリア支援や子育て支援の取組を行う団体が増え、女性の社会参画が活発化している。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ~多様な意見が反映される社会を目指します~	通番	77
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-4	政治分野での男女共同参画推進		
事業名	情報収集、環境整備等の実施			
担当	議会事務局			
事業概要	政治分野における男女共同参画の推進に関する情報の収集等を行い、必要に応じて男女共同参画を推進するための環境整備等に取り組む。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>国の動向を注視し、情報収集を行った。 【参考】令和7年4月に、国政各政党における令和6年度の男女共同参画の取組状況と課題が公表された。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	1点中 1点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>令和5年度以前から、男女問わず育児により会議に出席できないとき又は遅参するとき、また、出産のため会議に出席できないときの規則を制定しており、環境整備を進めている。 また、国の政治分野における男女共同参画社会の推進に関する情報収集を行い、議会事務局内で情報共有し、意識向上に努めている。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
(R6)2022年に内閣府が政治分野におけるハラスメント防止教材を作成しており、これを活用して議員向けハラスメント防止研修を開催しては。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
(R6)ハラスメント防止に関する条例等の制定や研修会の定期的な実施について、今後、議員間で検討する予定となっている。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	78(97,102)			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-1	男性中心型労働慣行の見直し					
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参画促進のための学習機会となる講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	48人	R6	48人	R7	48人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	「ファミリー・キッチン」(全2回): 家族でお菓子づくり / 子育てパパの料理教室 家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう工夫した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりのきっかけづくりとなる内容にしていく。 なお、対象者を男性に限定した講座は「子育てパパの料理教室」のみであったため、参加人数は11人となったが、家事・育児参画をテーマとする講座(家族でお菓子づくり、片付けと家事シェア、子育てアップデート、保育士のてい先生を講師に迎えたコムズフェスティバル基調講演)を含めると72人の男性が参加した。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	11人	23%
-------------------------	------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	79(85)			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保					
事業名	「まどんな応援企業宣言」認証制度						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性の登用・職域拡大等女性の活躍推進、男性の育児休業取得促進等ワーク・ライフ・バランスや男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組むことを宣言した企業に対し「まどんな応援企業宣言」認証を行い、取組へのサポートを行う。						
数値目標	認証企業数	R5	87 企業	R6	88 企業	R7	91 企業

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	ホームページ等で認証事業所の取組状況を紹介するほか、認証事業所から若手社員を派遣していただき、若者のライフデザイン支援事業の交流会で大学生に仕事と家庭の両立等について話す機会を作っているため、大学生のニーズに合った事業所を紹介できるよう、新規事業所の獲得に努めた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「まどんな応援宣言事業所認証制度」の認知度の向上と認証事業所数の増加を目指し、令和5年度から、松山市と松山市男女共同参画推進財団の共同で認証する方式に改めた結果、認証事業所数の大幅な増加となった。しかしながら、まだ認知度は低く、制度の周知に努めてもなかなか応募につながらないため、個別のアプローチや制度の見直しが必要である。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	認証企業数	119 企業	135%
-------------------------	-------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	80(86)			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保					
事業名	まどんな応援企業の周知啓発						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	まどんな応援宣言企業の認知度を向上させ、市民への認知度を向上させるため、特に若い世代への啓発を積極的に行う。						
数値目標	若年層への周知回数	R5	1回	R6	1回	R7	1回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	ホームページ等で認証事業所(119事業所)の取組状況を紹介するとともに、「若者のライフデザイン支援事業」では市内の短期大学・大学生をを対象に、まどんな応援宣言事業所の紹介やロールモデルとなる社員(8事業所)との交流会を実施し、男女共同参画に積極的な企業を知る機会をつくった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	コムズ主催事業や情報誌において、まどんな応援宣言事業所の周知啓発をより積極的に行い、認知度の向上をめざしていく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	若年層への周知回数	1回	100%
-------------------------	-----------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	81			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保					
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及活動(企業・事業者・団体等)						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	企業が子育て世代の仕事と育児の両立を支援するとともに、多様な人材の活用を進め、効率的で生産性の高い職場を実現できるよう、企業等を対象とした講座やワークショップを行い、ワーク・ライフ・バランスの積極的推進について呼びかける。						
数値目標	企業等への講師派遣回数	R5	7回	R6	7回	R7	7回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	事業所が希望するテーマに応える形で講師を派遣した。育児の関わりや、仕事と暮らし、アンコンシャス・バイアスをテーマとする講座を開催し、それぞれの講座の中でワークライフ・バランスについても触れ、意識啓発に努めた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	令和6年度は、9事業所等から出張講座の依頼があり、特に「アンコンシャス・バイアス」をテーマとした依頼が多く占め、男女共同参画とアンコンシャス・バイアスの関係性について啓発することができ、ニーズに応えることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	企業等への講師派遣回数	9回	129%
-------------------------	-------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)アンコンシャスバイアスを解消するためには、管理者を含め広く全体へ漏れなく普及啓発が求められる。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)男女共同参画社会の形成の中において、アンコンシャスバイアスは重要なテーマとしているため、引き続き啓発を行ってきたい。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	82(38)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保		
事業名	企業内人権教育担当者研修講座【再掲】			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	企業等には、公正公平な採用基準の徹底等をはじめ、企業活動を行う上で直面する人権に関わるさまざまな課題に対し、企業の社会的責任が求められていることから、市内の中小企業等の経営者又は従業員等を対象に研修講座を実施し、企業内における人権意識の高揚を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年10月24日(木)に、「多様な人々と共に組織を・社会をつくる～ダイバーシティとジェンダー平等～」というテーマでNPO法人ワークライフ・コラボの堀田 真奈さんを講師に招き、講演会を実施した。会場受講者19名、オンライン受講者14名の計33名が参加した。「男だから」「女だから」という考え方のアップデートが必要であることが分かった等の感想が多く寄せられた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講者アンケートでは、「ジェンダーバイアスにとらわれない働きやすい職場づくりのために、講座内容を職場でも共有したい」等の感想が多数寄せられ、職場の男女共同参画について意識を高めることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	83(101)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保		
事業名	男女雇用機会均等法等の周知・啓発			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・男女雇用機会均等法等に関する周知を「松山しごと創造センター」のセミナー等における参加者に対して行う。 ・市内企業に勤める方から均等法に係る相談があった場合、労働局内雇用均等室の紹介を行う。 ・労働局の均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を、来訪者用に課内設置する。 ・松山市HP等で国が実施する両立支援助成の案内を行う。 			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	労働局の男女雇用機会均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を課内に設置したほか、ホームページ等で雇用に関する支援・施策情報を発信し、周知・啓発を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	啓発用チラシ等を設置し、男女雇用機会均等法の周知・啓発を図ることができた。県市が連携して就労支援を実施しており、今後も雇用関連の啓発や案内を県市が連携して実施していく必要がある。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)性差別は一見無くなっているように見えるが、実態を見ると、依然として男性、女性という区分をもって異なる取扱いがなされている場合もあり、労働局とこれまで以上に連携・協力して周知・啓発してほしい。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)愛媛労働局と連携し、周知したい。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	84
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	メンターの育成(庁内ワーキング・グループ)			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	実施計画の事業を担当する課の若手職員で構成される「庁内ワーキング・グループ」メンバー自らが実践者(ロールモデル)となり、また、将来の良き助言者・指導者(メンター)となれるよう男女共同参画に関する学習機会を提供する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	2月に庁内ワーキンググループ研修会を実施した。庁内から20名の参加があり、コムズの館長を講師に迎え、アンコンシャス・バイアスをテーマに講演を実施するとともに、第4次松山市男女参画基本計画など、庁内での推進状況について説明を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	研修後のアンケートでは、研修参加者の75%が職場還元研修を実施した(する予定)としており、更なる拡がり期待できる。ワーキンググループメンバー内にも、自身の課の業務と男女共同参画推進との関係性を認知していないケースもあり、担当課で周知を推進する必要がある。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	85(79)			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進					
事業名	「まどんな応援企業宣言」認証制度【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性の登用・職域拡大等女性の活躍推進、男性の育児休業取得促進等ワーク・ライフ・バランスや男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組むことを宣言した企業に対し「まどんな応援企業宣言」認証を行い、取組へのサポートを行う。						
数値目標	認証企業数	R5	87 企業	R6	88 企業	R7	91 企業

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	ホームページ等で認証事業所の取組状況を紹介するほか、認証事業所から若手社員を派遣していただき、若者のライフデザイン支援事業の交流会で大学生に仕事と家庭の両立等について話す機会を作っているため、大学生のニーズに合った事業所を紹介できるよう、新規事業所の獲得に努めた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「まどんな応援宣言事業所認証制度」の認知度の向上と認証事業所数の増加を目指し、令和5年度から、松山市と松山市男女共同参画推進財団の共同で認証する方式に改めた結果、認証事業所数の大幅な増加となった。しかしながら、まだ認知度は低く、制度の周知に努めてもなかなか応募につながらないため、個別のアプローチや制度の見直しが必要である。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	認証企業数	119 企業	135%
-------------------------	-------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	86(80)			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進					
事業名	まどんな応援企業の周知啓発【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	まどんな応援宣言企業の認知度を向上させ、市民への認知度を向上させるため、特に若い世代への啓発を積極的に行う。						
数値目標	若年層への周知回数	R5	1回	R6	1回	R7	1回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	ホームページ等で認証事業所(119事業所)の取組状況を紹介するとともに、「若者のライフデザイン支援事業」では市内の短期大学・大学生をを対象に、まどんな応援宣言事業所の紹介やロールモデルとなる社員(8事業所)との交流会を実施し、男女共同参画に積極的な企業を知る機会をつくった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	コムズ主催事業や情報誌において、まどんな応援宣言事業所の周知啓発をより積極的に行い、認知度の向上をめざしていく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	若年層への周知回数	1回	100%
-------------------------	-----------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	87
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発(市民)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動を行い、必要性やメリット等について周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>「キャリアと暮らしの充実講座」(全2回):市内で活躍するロールモデルを講師に、自分自身が望む働き方を考えることで、自分らしいキャリアや暮らしをつくっていけるよう一歩を踏み出すきっかけを提供した。</p> <p>「ファミリー・キッチン」(全2回): 家族でお菓子づくり、子育てでパパの料理教室をとした家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実を図った。</p> <p>「暮らしのスキルアップ講座」(全2回): 片付け、防災講座をとおり、知識や技術を身につけることで充実した生活を送る機会を提供した。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」についての理解が進む中、市民ニーズに応えることのできる講座企画をより一層進めていく必要がある。</p> <p>テーマや対象を工夫し、女性、男性それぞれが家事参画やプライベートの充実を図ることに寄与できた。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	88(100,155)			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進					
事業名	若者のライフデザイン支援事業						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。						
数値目標	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	R5	1回	R6	1回	R7	1回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	次世代を担う若者が、就職・結婚・子育てなど、自分が思い描く人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけを提供するため、市内の短期大学・大学生に向けた「ライフデザインをテーマとした交流会」をコムズで開催した。交流会では、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる事業所を松山市と松山市男女共同参画推進財団が認証する「まどんな応援事業所」等(8事業所)が参加し、短期大学・大学の学生(16名)が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	各事業所の担当者が発表したライフラインチャートをおし、学生との対話の中で、結婚、就職、子育て等のライフプランニングやキャリア形成のための周知啓発等を行うことで、若い世代が知識を習得し、自ら人生設計(ライフデザイン)を構築することができる機会を提供することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	1回	100%
-------------------------	----------------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)大学生の意識づけ、きっかけづくりを目的とするなら、参加者を集めるのではなく、大学への出前授業などの形を取った方が良かったのではないかと。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)今後は大学等の必修授業に充ててもらい、少しでも学生に意識づけ、きっかけづくりを提供していきたい。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	89			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-4	農業分野での女性の経営参画の促進					
事業名	家族経営協定の推進						
担当	農業委員会事務局						
事業概要	農業の担い手である女性の役割分担の認識を図るとともに、男女のお互いがパートナーであることを尊重しあうために、家庭内の役割を分担し、労働時間、家族行事等の協定(家族経営協定)の締結を推進する。						
数値目標	締結数	R5	10件	R6	10件	R7	10件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	家族経営協定締結件数 4件【累計締結数 273件】
------------	---------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	締結した農業者にとっては、家庭内の役割分担等を考える機会となり、女性の経営参画の推進につながっていると考えられる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	締結数	4件	40%
-------------------------	-----	----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	90
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-4	農業分野での女性の経営参画の促進		
事業名	担い手総合支援事業			
担当	農林水産振興課			
事業概要	農業の担い手を確保・育成するため、JAが実施する就農候補者への栽培技術や経営管理の研修の経費を補助するほか、新規就農者の経営定着や認定農業者の経営発展に必要な機械・施設の導入に対して補助金を交付し支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	JAが実施する就農候補者研修にかかる経費や新規就農者が導入する農業機械・施設に対して補助を行った。就農候補者研修については、えひめ中央農業協同組合は27名の研修生を受け入れており、そのうち5名は女性研修生であった。また、農業機械、施設整備については9名中1名は女性農業者が活用し、次世代を担う農業者への支援と確保に取り組むことができた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	2点中 2点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	対象外
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	対象外
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>【課題】 新規就農する女性の割合は男性に比べてまだ低い状況である。 JA等の関係機関と連携しながら現状把握と農業への参入障壁の引き下げに努めるとともに、女性の割合増加に取り組む必要がある。</p> <p>【成果】 就農候補者研修の女性受講者は令和2年度5名、令和3年度5名、令和4年度7名、令和5年度6名、令和6年度5名と一定数を確保できている。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	91
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-4	農業分野での女性の経営参画の促進		
事業名	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金			
担当	農水振興課(農業指導センター)			
事業概要	農村の女性が健康で充実した農業・農村生活の担い手となり、農業知識や技術の習得と消費者との交流などで情報交換に努め、地域農業・農村の維持・発展と地域活性化を図るため、「松山市農村生活研究グループ連絡協議会」へ補助金を交付する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	※松山市農村生活研究グループ連絡協議会は、令和5年度末をもって解散したため、当事業も令和5年度をもって終了した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	0点中 0点
----------------	--------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果			

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	92
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-5	職業能力の開発支援		
事業名	松山市人材育成事業補助金事業			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的として研修等を受講する際に、その費用の一部を補助する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的に研修等を受講する際に、受講料等の一部を補助した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別や年齢等に捉われず、幅広く実施することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	93			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応					
事業名	女性の起業支援						
担当	ふるさと納税・経営支援課						
事業概要	松山しごと創造センターで、女性を対象とした起業の個別相談やセミナーを実施し、総合戦略に掲げる基本目標「魅力ある仕事と職場をつくる」の数値目標でもある事業所の増加に繋げる。						
数値目標	松山しごと創造センターの支援を受けて創業した件数	R5	13 件	R6	13 件	R7	13 件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	専門家による個別相談や起業に関するセミナーを開催するなど、創業者向けの支援を行った。また、女性の事業者同士が交流できるイベントを開催し、女性の起業機会の創出につなげた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	今後も引き続き、個別相談や創業者向けのセミナーを開催するなどして、創業支援を実施したい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	松山しごと創造センターの支援を受けて創業した件数	22 件	169%
-------------------------	--------------------------	------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	94
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	高齢者雇用対策事業			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	働く意欲と能力のある高齢者が働き続けられるよう支援するとともに、中小企業の人材確保を支援していくため、松山シルバー人材センターで高齢者就労の総合相談支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	「高齢者就労総合相談窓口」を開設し、働く意欲と能力のある高齢者がその能力を發揮して働き続けられるよう、従来の臨時かつ短期の就業だけでなく、常用雇用も含めた求人開拓から相談、求職者と事業者のニーズに応じたマッチング支援に至るまでの効果的な相談支援を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	総合的就労相談窓口として、就職希望者一人ひとりの状況や適性に応じた就労先とのマッチングを行うなど、きめ細かな支援を実施したことで、より多くの高齢者の就労につなげることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	95
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の再就職支援			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	結婚や出産、育児などで離職し、再就職に対して様々な不安を抱えている女性の労働参加及び掘り起こしに向けて、愛媛県の就労支援施設であるジョブカフェ愛workと連携し、求職者と企業の両面から女性の活躍促進に取り組む。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	就労支援を県市が連携して実施しており、県の就労支援施設であるジョブカフェ愛workで個別相談を実施し女性の就職を支援した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	県市が連携して就労支援に取り組み、ジョブカフェ愛workで支援した154名の女性の就職が決定した。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	96
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	松山市テレワーク在宅就労の促進			
担当	企業立地・産業創出課			
事業概要	テレワークによる在宅就労者として障害者などの就労困難者を雇用した松山市内の指定事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワークの導入が進んでいない業種に更なる促進を図る。※テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方を言う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	テレワークによる在宅就労者としてひとり親家庭の親や障がい者などの就労困難者を雇用する松山市内の事業所を指定事業所に認定している。 指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大の促進を図った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	近年のテレワーク市場の拡大や普及状況を踏まえ、テレワーク在宅就労・発注奨励金の対象を、全業種からテレワークの導入が進んでいない業種に絞り、更なる促進を図る。 本事業の実施により、これまでに300名の雇用が生まれた。市外企業が市内指定事業所に発注した金額も5.3億を超えており、外貨獲得につながっている。 本事業はテレワーク推進のための自治体独自の取り組みを進めている事例として厚生労働省や総務省(四国総合通信局)にも取り上げられるなど、全国的にも珍しい本市独自の取り組みである。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	97(78,102)			
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-1	男性にとってのワーク・ライフ・バランス					
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参画促進のための学習機会となる講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	48人	R6	48人	R7	48人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	「ファミリー・キッチン」(全2回): 家族でお菓子づくり / 子育てパパの料理教室 家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう工夫した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりのきっかけづくりとなる内容にしていく。 なお、対象者を男性に限定した講座は「子育てパパの料理教室」のみであったため、参加人数は11人となったが、家事・育児参画をテーマとする講座(家族でお菓子づくり、片付けと家事シェア、子育てアップデート、保育士のてい先生を講師に迎えたコムズフェスティバル基調講演)を含めると72人の男性が参加した。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	11人	23%
-------------------------	------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	98(31)			
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-1	男性にとってのワーク・ライフ・バランス					
事業名	自殺対策【再掲】						
担当	保健予防課						
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、庁内の関係課(55課)の担当者が本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得し庁内ネットワークを構築することで、自殺対策を円滑に推進する。						
数値目標	会議開催数	R5	2回	R6	2回	R7	2回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>松山市自殺対策庁内担当者会を2回開催し、計96名の職員が参加した。</p> <p>1回目(10月)では、「本市の自殺の現状と自殺対策の取り組みについて」の講話及び「第3次松山市自殺対策基本計画」の参考にするため、庁内の連携強化等についてグループワークを実施し、各課の市民対応や事業の振り返りと課題の抽出を行った。</p> <p>2回目(12月)では、NPO法人こころ塾の村松つね氏が講師として「ゲートキーパーとして大切な事とセルフケアについて」の講演会を開催し、市職員としてゲートキーパーの役割や心得について学んだ。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>受講後のアンケート結果では、今回の内容が参考になったとの回答が100%であった。</p> <p>男女共同参画への配慮度については、今回から性別欄に非選択を設けて性別違和の方への対応を行なった。</p> <p>参加者の割合は男性が多いことから、今後女性の割合を増やすために研修内容や研修方法等を見直していきたい。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	会議開催数	2回	100%
-------------------------	-------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	99			
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-2	育児休業等取得への啓発・支援					
事業名	市男性職員の育児休暇取得の促進						
担当	人事課						
事業概要	出産・育児支援説明会の開催や育休取得促進に係るリーフレット、パンフレットの配布を行い、男性の育児休暇の取得を促進する。						
数値目標	年間の出産・育児支援説明会の参加人数の増加	R5	40人	R6	50人	R7	60人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>出産育児支援説明会の開催(7月、1月)のほか、職種別研修(主査以上)で男性の育児休業の意義や制度の説明・周知を行った。</p> <p>また、出産育児説明会の1月開催分は新規採用職員研修の一環とし、参加希望者のほか新規採用職員全員を対象にすることで、育児休業取得に対する意識の醸成を図った。説明会後のアンケートでは、回答者のうち91%が「満足」、87%が「参考になった」と回答しており、一定の成果が確認できた。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性の育児休業取得に関する理解が深まり、取得率が向上した(R6実績:93.2%)		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	年間の出産・育児支援説明会の参加人数の増加	189人	378%
-------------------------	-----------------------	------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)育休取得者の業務フォロー(誰が抜けても仕事が回る)体制等の事例を共有・展開できる仕組みがあれば良いと思うがどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)育児休業を取得する男性職員も増えているため、業務フォロー体制等の事例共有・展開については、今後前向きに検討したい。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	100(88,155)			
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-2	育児休業等取得への啓発・支援					
事業名	若者のライフデザイン支援事業【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。						
数値目標	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	R5	1回	R6	1回	R7	1回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	次世代を担う若者が、就職・結婚・子育てなど、自分が思い描く人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけを提供するため、市内の短期大学・大学生に向けた「ライフデザインをテーマとした交流会」をコムズで開催した。交流会では、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる事業所を松山市と松山市男女共同参画推進財団が認証する「まどんな応援事業所」等(8事業所)が参加し、短期大学・大学の学生(16名)が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	各事業所の担当者が発表したライフラインチャートをとし、学生との対話の中で、結婚、就職、子育て等のライフプランニングやキャリア形成のための周知啓発等を行うことで、若い世代が知識を習得し、自ら人生設計(ライフデザイン)を構築することのできる機会を提供することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	1回	100%
-------------------------	----------------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)大学生の意識づけ、きっかけづくりを目的とするなら、参加者を集めるのではなく、大学への出前授業などの形を取った方が良かったのではないか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)今後は大学等の必修授業に充ててもらい、少しでも学生に意識づけ、きっかけづくりを提供していきたい。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	101(83)
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進		
実行項目	4-2-2	育児休業等取得への啓発・支援		
事業名	男女雇用機会均等法等の周知・啓発【再掲】			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・男女雇用機会均等法等に関する周知を「松山しごと創造センター」のセミナー等における参加者に対して行う。 ・市内企業に勤める方から均等法に係る相談があった場合、労働局内雇用均等室の紹介を行う。 ・労働局の均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を、来訪者用に課内設置する。 ・松山市HP等で国が実施する両立支援助成の案内を行う。 			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	労働局の男女雇用機会均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を課内に設置したほか、ホームページ等で雇用に関する支援・施策情報を発信し、周知・啓発を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	啓発用チラシ等を設置し、男女雇用機会均等法の周知・啓発を図ることができた。県市が連携して就労支援を実施しており、今後も雇用関連の啓発や案内を県市が連携して実施していく必要がある。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)性差別は一見無くなっているように見えるが、実態を見ると、依然として男性、女性という区分をもって異なる取扱いがなされている場合もあり、労働局とこれまで以上に連携・協力して周知・啓発してほしい。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)愛媛労働局と連携し、周知したい。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	102(78,97)			
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-3	家事・育児・介護等の実践に向けた支援					
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参画促進のための学習機会となる講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	48人	R6	48人	R7	48人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>・「ファミリー・キッチン」(全2回): 家族でお菓子づくり / 子育てパパの料理教室 家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう工夫した。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりのきっかけづくりとなる内容にしていく。 なお、対象者を男性に限定した講座は「子育てパパの料理教室」のみであったため、参加人数は11人となったが、家事・育児参画をテーマとする講座(家族でお菓子づくり、片付けと家事シェア、子育てアップデート、保育士のてい先生を講師に迎えたコムズフェスティバル基調講演)を含めると72人の男性が参加した。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	11人	23%
-------------------------	------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	103(149)			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	休日子どもカレッジ推進事業						
担当	こどもえがお課						
事業概要	夏休み等の長期休暇中に大学の空きスペースなどを活用し、親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施する。						
数値目標	延べ利用者数	R5	2,800人	R6	2,800人	R7	2,800人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施することができた。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松山大学 (実施主体 NPO法人ワークライフコラボ) 開設日数 52日 延べ利用者数:1,382人 ●ハーモニープラザ (実施主体 NPO法人いよココロザシ大学) 開設日数 52日 延べ利用者数:1,414人
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	延べ利用者数	2796人	100%
-------------------------	--------	-------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	104			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	子育てひろば等支援事業						
担当	こどもえがお課						
事業概要	地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)、子ども食堂、地域子ども見守り事業を行う団体に対し、その活動の経費を助成する。						
数値目標	子育てひろば利用者数	R5	50,000 人	R6	50,000 人	R7	50,000 人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>各ひろばの利用者数も増加し、育児不安の解消や子育ての孤立化防止等を図ることができた。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しののめ広場 たんぼほ 延べ利用者数:4,896人 ・カタリナ子育て支援ひろば ぼけっと 延べ利用者数:5,350人 ・子育てひろば くーふぁん 延べ利用者数:7,012人 ・子育てひろば くりっぶ 延べ利用者数:8,958人 ・子育てひろば ToiToiToi 延べ利用者数:22,031人
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き親子の交流の場や子育てに関する相談ができる場所が求められている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	子育てひろば利用者数	48247 人	96%
-------------------------	------------	---------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	105			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	児童クラブ運営事業						
担当	こどもえがお課						
事業概要	仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図る。						
数値目標	入会児童数	R5	6,323 人	R6	6,439 人	R7	6,396 人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図った。</p> <p>【実績】 児童クラブ数 126クラブ 定員数 5,972人</p>		
------------	--	--	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図り、子育て環境の充実を図ることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	入会児童数	5,969 人	93%
-------------------------	-------	---------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)児童クラブの運営では、特に大学近辺では大学生だよりになっている側面が見受けられる。また、大学以外の部分では、スタッフの高齢化が顕著という話もあり、地域格差があるように感じる。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)大学近辺とそれ以外の地域でスタッフの年齢層に違いがあることは、認識している。頂いたご意見を参考に、今後も、適正な運営に向けて取り組む。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	106(127)			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	地域子育て支援拠点事業(直営型)						
担当	すくすく支援課(令和5年度以前:こども相談課)						
事業概要	主に乳幼児をもつ親と子どもが気軽に集う場所として「すくすくひろば」を設置し、子育てへの負担感を緩和し、安心して子育てできるように、育児相談や子育てに関する情報提供のほか、講習などを行う。						
数値目標	年間利用者数	R5	2,500人	R6	2,500人	R7	2,500人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	主に乳幼児及びその保護者を対象に、親子の交流・集いの場を提供するとともに、子育て親子に対する相談援助を行った。また、令和6年度は育児講座「すくすくキッズ(お医者さんの話)」を6回、「みんなで話そうグループトーク」を5回実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	多くの子育て親子の利用があり、令和6年度の年間利用者数は5,933人であった。すくすくキッズ・みんなで話そうグループトークなどの利用者へのアンケートでは、「子どもと別室で、先輩ママなど子育て経験者の身近な話を聞いたり、自分の失敗談などを気軽に話すことができ、心が軽くなった。」今知りたいこと・悩みに対して適確に答えてもらえて、育児の振り返りができ、今後の育児の見通しがたつた。」などの意見があった。保護者の育児不安の軽減や今後の育児に対するモチベーションの向上につながっていると考えられる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	年間利用者数	5,933人	237%
-------------------------	--------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	107			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理						
担当	保育・幼稚園課						
事業概要	既存の幼稚園からの認定こども園への移行や、基準を満たした上で、待機児童の多くを占める1,2歳児の受入れを強化する「待機児童対策・保育の質向上事業」及び、保育・幼稚園相談窓口で利用者支援を行うことなどにより、多様な保育サービスを提供し待機児童の解消に取り組む。また、教育・保育の利用、一時預かり事業、延長保育事業などの目標や方向性を示した「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行うことで進捗管理を行う。						
数値目標	保育所等利用待機児童数	R5	0人	R6	0人	R7	0人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>公立保育所臨時園舎設置事業・・・宅地開発により保育需要が急増した南部および西部地区にある公立保育所(味生、生石、つばき)の園庭に臨時園舎を設置することで、児童の受入数を増やすとともに待機児童の解消を図った。</p> <p>待機児童対策・・・1、2歳児の定員超過に対する助成や育休復帰に伴う入園予約制度による児童福祉の向上を図った。</p>
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 3点	60%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	×
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	保育所という遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成と生活環境の充実を図ることができ、就労のある保護者の就労へつなげることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	保育所等利用待機児童数	0人	100%
-------------------------	-------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	108			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	小児救急医療確保事業						
担当	医事業事課						
事業概要	<p>本市の小児救急医療体制を長期安定的に維持するために、愛媛大学医学部の寄附講座、小児科新規開業促進補助金、小児研修医の育成に伴う実地研修、小児救急医療啓発出前講座を実施する。</p> <p>①愛媛大学医学部への寄附講座開設 ・急患医療センターの出務協力を得る外、小児科医の育成や小児医療に関する普及啓発を実施する。</p> <p>②小児科新規開業促進補助金 ・小児科医が市内に小児科を新規開業する場合に資金の一部を補助する。</p> <p>③小児研修医等の育成 ・松山赤十字病院及び愛媛大学医学部の臨床研修指導医が急患医療センターに出務する際、小児科研修医(2年次)の実地研修を実施する。</p> <p>④小児救急医療啓発出前講座の実施 ・ガイドブックを作成し、幼稚園・保育所等で、出前講座による救急医療の適正な利用等について啓発する。</p>						
数値目標	1、2、3次救急の連携により24時間365日小児救急医療を受けることができる体制	R5	100 %	R6	100 %	R7	100 %

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>①愛媛大学医学部に寄附講座を開設し、小児科医の育成と急患医療センターへの出務医師の確保を行っていただいた。</p> <p>②令和6年度の小児科新規開業補助金の支給は0件であった。</p> <p>③研修医として、松山赤十字病院から23名の医師の実地研修を行った。(愛媛大学は0件であった。)</p> <p>④小児救急医療啓発出前講座を23件開催し、延べ581名の方に啓発を行った。その他、赤ちゃんセットにガイドブックを同梱し配布するなど、できる限り子を持つ親に配ることができるよう取組を行った。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	全ての取組において、性別等限定することなく事業を行っている。小児救急医療啓発出前講座についても、主に保育園等に出向き啓発を行っているが、男性の参加も見られるなど幅広く啓発を行うことができている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	1、2、3次救急の連携により24時間365日小児救急医療を受けることができる体制	100 %	100%
-------------------------	--	-------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	109
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業(育児)】			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育て援助活動支援事業は、子育てについて、援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動(保護者にかわり保育園の送り迎え等を行う等)が円滑に行われるように調整する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度 の取組内容	広報誌や子育て情報サイト「にこっと」などでお知らせするとともに、令和6年度は里親約200名への送付資料にパンフレットを同封いただくよう依頼。また、提供会員になるための初級講習会の案内をSNSによる発信を行い、制度普及を図った。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	提供会員・依頼会員の合計が1,196名となった。 提供会員については、退会15名に対し、新規加入38名となっており、23名増となっている。 核家族の増加や地域とのつながりの希薄化などを背景に、育児不安を抱えながら地域から孤立した子育て家庭が増えており、こうした育児不安の解消に、地域が持つこどもを育てる力に大きな期待が寄せられており、今後さらに会員数の増加を図る必要がある。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	110
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て応援券交付事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	愛媛県、市町及び県内紙おむつ生産企業との官民協働により、第2子以降の出生時に紙おむつ購入に係る経済的支援を行うため、子育て応援券(1,000円×50枚綴り)を交付する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	子どもが出生した世帯の情報を確認し、「愛顔っ子応援券」を未申請の世帯には手続きを促すなど、対象となる世帯に漏れなく支援が行き渡るように対応した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	適切に愛顔っ子応援券を交付したことで、多くの市民に利用してもらえた。引き続き適切な愛顔っ子応援券の交付に努める。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	111
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て家庭の送迎等支援			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育て家庭が、子どもの送迎や預かりに利用できるサービス(ファミリー・サポート、イクじい・ばあばママサービス)に利用者補助を行うとともに、サービスの周知を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	子育て家庭がサービスを利用しやすいように、利用補助を行った。ファミリー・サポート・センター(育児)については、1か月あたり利用時間の2時間30分までを無料とし、イクじい・ばあばママサービスについては、1か月あたり利用時間の5時間までを半額とした。 各々の事業実施主体である(公財)男女共同参画推進財団・(公社)松山市シルバー人材センター補助金を支払い、利用者補助を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	こどもの送迎や預かり等の依頼に応えられる提供会員を増やす必要がある。 令和6年度の助成件数は4,530件で、子育て家庭がこどもの送迎や預かりサービスを利用する際の金銭的負担軽減に貢献した。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	112(14)
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て短期支援事業【再掲】			
担当	子育て支援課			
事業概要	保護者が病気や仕事その他の理由により、家庭で児童を養育することが一時的に困難となる場合に、児童養護施設及びその他保護を適切に行うことができる施設又は里親宅において、7日以内で児童を預かる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	緊急一時保護を1件松山市小栗寮で行い、母子の安全を確保した。
------------	--------------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	子育て短期支援事業での緊急一時保護を行うことで、母子を安全に保護することができた。第3期子ども・子育て支援事業計画策定に伴い、実施後に利用時の様子や今後の体制についての声(意見)や希望を伺っている。R6年度に就学前児童と小学生児童の子を持つ親にアンケートを行った結果、本事業の認知度は約17%であった。一方、関係機関から本事業の問い合わせは一定数あることから、今後は、これまでの取組に加え、関係機関への周知や連携を通して支援を必要とする世帯へ情報が届くよう努める。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)早期発見、早期対応のためには子育て世帯間の情報網から情報を掴むことも重要と感じる。そのために全ての子育て世帯に認知いただくことが重要である。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)子育て情報サイト「にこっと」をはじめ、ホームページへの掲載や子育て世帯を対象とする冊子やチラシの配布を行い周知・啓発に努めている。また、早期発見、早期対応にて、必要性の高い家庭にはこども家庭センターと連携し事業の紹介や説明を行っている。相談者には事業説明を行い事業内容を知っていただくことで、子育て世帯間の情報網で必要な家庭には声掛けしてもらうようにも伝えている。引き続き、関係課等と連携し子育て世帯に認知していただけるよう努めていく。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	113
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育てに関する情報の発信			
担当	こどもえがお課			
事業概要	子育てに関する情報(保育園や幼稚園、認定こども園等の情報等)を収集し、子育て情報サイトや冊子で情報発信する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度 取組内容	松山市子育て情報サイトを適切に運営し、広く情報発信を行った。また、「まつやま子育て応援パンフレット」「松山市子育てマップ」を作成し、市役所内の関係各課窓口などで配布した。
---------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	サイトや冊子を使って子育てに関する様々な情報を集約することで、子育てと仕事の両立につながる支援やサポートなどの情報も広く周知することができた。 配慮度の項目⑤の取組が十分ではないので、利用者へのアンケートなど、客観的な評価を取り入れる方法を検討していきたい。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
(R5)男女共同参画の視点での配慮や課題などについて具体的に記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
(R5)子育てと仕事の両立に関する内容の情報発信を行ったことを追記した。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	114
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子ども医療助成事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	子どもの医療費を助成することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減と、子どもの病気の早期発見や治療を支援し、子育て環境の充実を目指す。 助成対象者:0歳から18歳年度末までの子ども。 助成範囲:保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	県内医療機関で使用できる、子ども医療費受給資格証を交付した。交付者数 68,508人 子どもの保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成した。助成額 2,624,242千円
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、子どもの病気の早期発見や治療を支援することができた。 事業の概要や医療機関の適正な受診について、今後もホームページや広報紙など様々な機会を通じて周知していく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)男女共同参画への配慮度に対する課題・成果に関して、具体的に記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)配慮度に対する課題・成果を修正した。 【課題】事業の概要や医療機関の適正な受診についての理解を深めるための効果的な周知啓発の検討。 【成果】交付者数69,575人 令和5年12月から18歳年度末まで医療助成対象を広げた。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	115
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	児童館等管理運営事業			
担当	こどもえがお課			
事業概要	児童館・児童センターで児童に健全な遊びを提供することによって、児童の健康増進等を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>児童館・児童センターで健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにすることにより児童の健全育成を図ることができた。</p> <p>【実績】利用者数(人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中央児童センター 43,694人 ●南部児童センター 87,809人 ●北条児童センター 42,217人 ●新玉児童館 20,896人 ●味生児童館 27,422人 ●久米児童館 28,154人 ●久枝児童館 40,701人 ●畑寺児童館 52,177人 ●延べ利用者数 343,070人
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>児童館・児童センターで健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにすることにより児童の健全育成を図ることができた。</p> <p>また、児童館・児童センターでは、こども(及び保護者)の意見を聞くため、令和5年6月から意見箱を設置し、こどもがいつでも、思ったことや感じたことを自由に無記名で投函できるようにするなど、各施設で利用者層にあわせた取組を実施している。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見
<p>①(R5)男女共同参画への配慮度に対する課題・成果に関して、具体的に記載してはどうか。</p> <p>②(R6)児童センターは、平日のイベント開催が多いが、土日のイベントも少し増えれば参加しやすいのではないかと。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について
<p>①(R5)児童館・児童センターでの具体的な取組を追記した。</p> <p>「児童館・児童センターでは、こども(及び保護者)の意見を聞くため、令和5年6月から意見箱を設置し、こどもがいつでも、思ったことや感じたことを自由に無記名で投函できるようにするなど、各施設で利用者層にあわせた取組を実施している。」</p> <p>②(R6)平日は未就学児、土日は小学生以上のイベントが多くなっている。土日は利用者が多くイベント開催場所の確保が難しい状況もあるが、利便性の向上に努めた。</p>

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	116
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	児童手当支給事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、児童を養育している者に児童手当を支給する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年9月までは中学校卒業まで、令和6年10月以降は児童手当法改正により、高校生年代までの児童を養育する父母その他の保護者に対し、児童の家庭等における生活の安定と健やかな成長に資するため手当を支給した。(延べ児童数: 682,273人 支給額: 8,036,460千円)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	児童手当の支給により、子育て世帯の経済的負担を軽減し、生活の安定や福祉の増進を図ることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)男女共同参画への配慮度に対する課題・成果に関して、具体的に記載してはどうか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)配慮度に対する成果を修正した。 【成果】支給者数(延べ人数)644,950人 児童手当の支給により、子育て世帯の経済的負担を軽減し、生活の安定や福祉の増進を図ることができた。

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	117			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-2	妊娠・出産の支援をはじめとした母子保健の充実					
事業名	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業						
担当	すくすく支援課						
事業概要	母子の健康の保持増進及び育児支援を図るため、妊娠期・乳幼児期の遺伝・育児・栄養などに関する健康教育や健康相談、訪問指導を実施し、また、心身のつまずきのある幼児とその保護者を対象の療育指導を行うことにより発達を促し、育児不安の軽減を図る。①パパ・ママのための教室 ②オンライン育児講座(マタニティライフの過ごし方、プレママのお口のケア) ③すくすく相談・モグモグ相談 ④離乳食講座 ⑤かんがるークラブ ⑥なかよし教室 ⑦発達相談 ⑧5歳児相談 ⑨訪問指導(こんにちは赤ちゃん訪問含む) ⑩松山市母子保健推進員養成講座 ⑪遺伝相談						
数値目標	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	R5	95 %	R6	95 %	R7	95 %

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	①パパ・ママのための教室494人、②オンライン育児講座(マタニティライフの過ごし方4人・プレママのお口のケア 0人)、③すくすく相談5127人・モグモグ相談743人、④離乳食講座73人、⑤すくすくキッズ182人(旧⑤かんがるークラブ、⑥なかよし教室)、⑥発達相談429人、⑦訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問含む)7,791人、⑧松山市母子保健推進員養成講座52人、⑨遺伝相談0人
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	各事業を通して、妊娠・出産・育児に関する正しい知識や情報を共有し、父親と母親が共に子育てに取り組めるよう支援した。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	97.9 %	103%
-------------------------	---------------------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	118
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-2	妊娠・出産の支援をはじめとした母子保健の充実		
事業名	産後ケア事業			
担当	すくすく支援課			
事業概要	産後の体調不良や育児不安があり、家族等から家事や育児の十分な援助を受けられない出産後の母子に対し、助産師等によるケアや育児指導を行い、母子とその家族が健やかに生活できるよう支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	利用実人数:244人、利用延人数:399回
------------	-----------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	産後の体調不良や育児不安があり、家族等から十分な援助を受けられない母子に対し、ケアや育児指導を行うことで育児不安の軽減につながった。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	119
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-2	妊娠・出産の支援をはじめとした母子保健の充実		
事業名	多胎妊産婦等サポート事業(育児・家事援助サービス利用補助事業)			
担当	すくすく支援課			
事業概要	育児等に対する孤立感や負担感の強いとされる多胎妊産婦等を対象とし、産後うつ病や虐待を予防するため、育児・家事援助サービスを受ける際の利用料の助成を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	交付人数:98人 利用人数:58人 利用可能事業者: 9か所。
------------	------------------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	育児等に対する孤立感や負担感の強いとされる多胎妊産婦・父親等に対して、育児・家事援助サービスを活用しやすい環境を整え、負担軽減に繋げた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	120			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援					
事業名	ひとり親家庭等の就労支援						
担当	子育て支援課						
事業概要	母子家庭等自立支援教育訓練給付金や母子家庭等高等職業訓練促進給付金等を、適職に就くために必要であると認められる場合や就職の際に有利で生活の安定に役立つ資格を取得する場合に支給し、就労支援を行う。						
数値目標	自立支援教育訓練給付金講座修了者及び高等職業訓練促進給付金利用者の就職率	R5	100 %	R6	100 %	R7	100 %

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	ひとり親家庭の親が教育訓練講座を受講する際にその経費の一部を支給し、主体的な能力開発の取組を支援し、自立の促進を図った。また、就職を容易にするために必要な資格の取得を促進するため、養成機関の受講期間において給付金を支給し、生活の負担の軽減を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援教育訓練給付金事業について、令和6年度は10人が修了し、看護師、栄養士、介護福祉士実務者研修、介護職員初任者研修、医療事務講座等の資格を取得した。1人が取得した資格に関連する事業所へ就職し、7人が取得した資格に関連する事業所へ継続勤務となった。 高等職業訓練促進給付金事業について、令和6年度は19人が修了し、看護師、准看護師等の国家資格や、Webクリエイター能力認定試験の民間資格を取得した。修了者の雇用形態は、正社員13人であり取得した資格を活かした就労先になっている。 		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	自立支援教育訓練給付金講座修了者及び高等職業訓練促進給付金利用者の就職率	87 %	87%
-------------------------	--------------------------------------	------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	121
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	児童扶養手当支給事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として支給される手当。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	離婚・死亡等により父または母がいない、あるいは、父または母が重度の障害等の家庭において、児童に心身を健やかに成長させるため、父または母・養育者に手当を支給した。(4,237世帯)
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	該当世帯の経済的負担を軽減し、生活の安定や福祉の増進を図った。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	122
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	ひとり親家庭医療助成事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	ひとり親家庭の医療費を助成することにより、ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。 助成対象者：ひとり親家庭の母もしくは父とその子。祖母もしくは祖父と孫、または姉もしくは兄と弟妹の家庭でひとり親家庭に準ずるもの。父母のいない子。 助成範囲：保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	県内医療機関で使用できる、ひとり親家庭医療費受給者証を交付した。交付者数 12,978人 ひとり親家庭の保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成した。助成額 656,094千円 新規申請受付件数 688件(世帯)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に捉われることなく事業を実施することで、ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定や福祉の増進を図った。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	123
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理			
担当	子育て支援課			
事業概要	ひとり親家庭や寡婦が様々な活動に積極的に参加でき、ともに支えあい、自ら安定した生活を営み、子どもたちが健やかに成長できるよう、各種支援策をまとめた総合的な計画である「ひとり親家庭等自立促進計画」の進捗管理を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	担当課に第3期ひとり親家庭等自立促進計画のR5年度進捗状況を確認し、松山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に評価をしてもらい、評価結果を松山市ホームページで公表した。 令和7年4月からスタートする第4期松山市ひとり親家庭等自立促進計画を策定した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭を取り巻く環境の変化や、本市を取り巻く現状をふまえ、進捗管理を行っていく必要がある。 ・「第3期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」の令和5年度進捗状況の評価を行ったことで、各種事業の改善点が明らかになった。 		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	124(5)			
重点目標	4-3	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	4-3-4	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業						
担当	子育て支援課						
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。						
数値目標	相談受付件数	R5	430件	R6	430件	R7	430件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	家族に相談を聞かれたくないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和6年度の実績は、こども相談164件、ひとり親相談30件、DV相談36件の合計230件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があった。また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談受付件数	230件	53%
-------------------------	--------	------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R5)LINEを活用した子ども子育て相談ですが、相談対応に曜日と時間の指定があるのは、利便性に問題があると思う。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っている可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。</p> <p>②(R6)相談件数のような量的な評価だけでなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R5)今後の事業見直しの参考とする。</p> <p>②(R6)DVIに関する相談は、相談に至るまでに時間を要していたり、複雑に絡んだ問題を抱えていたりしており、満足度や連携件数といった点での評価の難しさがあるが、いただいた意見を参考に今後の評価観点を検討していく。</p>

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	124(5)			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-4	相談体制の確立					
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業【再掲】						
担当	こども相談課						
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。						
数値目標	相談受付件数	R5	430 件	R6	430 件	R7	430 件

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	家族に相談を聞かれないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和6年度の実績は、こども相談164件、ひとり親相談30件、DV相談36件の合計230件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があった。また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談受付件数	230 件	53%
-------------------------	--------	-------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	<p>①(R5)LINEを活用した子ども子育て相談ですが、相談対応に曜日と時間の指定があるのは、利便性に問題があると思う。愛媛県教育委員会は、AIメンタルヘルス相談(メンタルヘルスさくらさん)を2024年8月に導入し、12000人の教職員向け相談窓口を作った。初期相談を担い、その後の専門家につなぐ役割も担っている。各種相談の窓口を一本化することによる効率化と相談スキルの安定、受付24時間365日体制を作っている可能性がある。今後の取り組みとしてご検討されてはどうか。</p> <p>②(R6)相談件数のような量的な評価だけではなく、質的なもの、相談を受けた方の満足度や他機関との連携件数なども成果に盛り込むようにしてはどうか。</p>
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	<p>①(R5)今後の事業見直しの参考とする。</p> <p>②(R6)匿名希望の相談者が多いため、相談を受けた方々の満足度を調査することは難しいと考えるが、他機関との連携件数等、今後の事業実施の参考にする。</p>

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	125			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-4	相談体制の確立					
事業名	子育て世代包括支援センター事業(すくすく・サポート)						
担当	すくすく支援課						
事業概要	妊娠期から乳幼児期にわたる様々な相談に対し、助言・情報提供を行うとともに、支援が必要な方には、関係機関と連携し、切れ目ない支援を提供する。						
数値目標	すくすく・サポート利用者総数	R5	14,000 人	R6	14,000 人	R7	14,000 人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	すくすく・サポート利用者総数13,414人で前年度から増加しており、相談場所としての市民の認知度は高まっている。妊娠期から子育て期の様々な相談に保健師・栄養士等が対応し、必要な方には関係機関と連携し切れ目ない支援を提供している。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	妊娠期から子育て期の相談窓口であることをママ・パパセット交付時に全ての妊婦や家族等に周知し、切れ目ない支援を提供した。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	すくすく・サポート利用者総数	13,414 人	96%
-------------------------	----------------	----------	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	126
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	総合相談事業			
担当	こども相談課			
事業概要	子どもに関する総合相談窓口である「子ども総合相談」にて、松山市の0歳から18歳までの子育て、発達、虐待、いじめ、不登校、問題行動などのさまざまな相談に対し、学校や関係機関と連携し対応する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	松山市在住の0歳から18歳までのこどもとその保護者及び妊産婦等を対象に、総合的な相談窓口として、子育て、虐待、いじめ、不登校、問題行動、予期せぬ妊娠等の様々な相談に対し、関係機関と連携しながら電話、来所、訪問等で個々の状況に応じた迅速かつ的確な対応を行った。令和6年度の相談件数は4,086件だった。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	悩みや不安を抱えているこどもや保護者、または妊産婦が自ら相談できる窓口としての周知が進み、相談件数は増加している。受け付けた相談に対して学校や医療機関等の関係機関と連携しながら丁寧に対応することで、こどもの健やかな成長に資することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	127(106)			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援					
事業名	地域子育て支援拠点事業(直営型)【再掲】						
担当	すくすく支援課(令和5年度以前:こども相談課)						
事業概要	主に乳幼児をもつ親と子どもが気軽に集う場所として「すくすくひろば」を設置し、子育てへの負担感を緩和し、安心して子育てできるように、育児相談や子育てに関する情報提供のほか、講習などを行う。						
数値目標	年間利用者数	R5	2,500 人	R6	2,500 人	R7	2,500 人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	主に乳幼児及びその保護者を対象に、親子の交流・集いの場を提供するとともに、子育て親子に対する相談援助を行った。また、令和6年度は育児講座「すくすくキッズ(お医者さんの話)」を6回、「みんなで話そうグループトーク」を5回実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	多くの子育て親子の利用があり、令和6年度の年間利用者数は5,933人であった。すくすくキッズ・みんなで話そうグループトークなどの利用者へのアンケートでは、「子どもと別室で、先輩ママなど子育て経験者の身近な話を聞いたり、自分の失敗談などを気軽に話すことができ、心が軽くなった。」今知りたいこと・悩みに対して適確に答えてもらえて、育児の振り返りができ、今後の育児の見通しがたつた。」などの意見があった。保護者の育児不安の軽減や今後の育児に対するモチベーションの向上につながっていると考えられる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	年間利用者数	5,933 人	237%
-------------------------	--------	---------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	128			
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化					
実行項目	5-1-1	自主防災組織や防災士などへの支援					
事業名	松山のひととまちを守る！防災士養成事業						
担当	市民防災安全課						
事業概要	公費負担により、自主防災組織、小中学校、幼保育園、福祉避難所及び災害協定締結事業所への防災士配置を進め、総合的な地域防災力の強化につなげる。また、女性の防災への参画の重要性から、女性防災士の養成に取り組む。						
数値目標	防災士の女性の割合	R5	20.5 %	R6	21.0 %	R7	21.5 %

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	愛媛大学と連携して防災士養成講座を実施し、広く防災士資格が取得できる機会を創出した。また、公費負担で自主防災組織、小中学校、幼保育園、児童クラブ、福祉避難所、災害協定締結事業所、郵便局に防災士を養成した。さらに、令和元年度から取り組んでいる公費での高校生防災士の養成も行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度 (%)	4点中 4点	100%
-----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	広く防災士を募っているため、女性防災士の割合は徐々に高まってきている。しかし、決して高い水準とは言えない。災害時には様々な視点からの支援が必要になるため、引き続き女性防災士の養成を進めていく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度 (%)	防災士の女性の割合	24.3 %	116%
--------------------------	-----------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	129(70)			
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化					
実行項目	5-1-1	自主防災組織や防災士などへの支援					
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)【再掲】						
担当	地域消防推進課						
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。						
数値目標	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	R5	37 地区	R6	37 地区	R7	37 地区

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年度中に松山市内の39地区すべてで地域の訓練への参加や防災研修会などを実施した。そのほか、女性の視点を活かした避難所運営訓練や炊き出し訓練等も積極的に実施し、非常事態に備えている。さらに、各地区の保育園や幼稚園、児童クラブへ出向き、紙芝居などを利用して防火防災教育などの啓発活動を行っている。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	女性で構成される団体であるが、性別で制限される活動ではないため、男性の参画についても協議すべきである。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	39 地区	105%
-------------------------	--------------------------------------	-------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	130
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-1	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	自主防災組織育成事業			
担当	市民防災安全課			
事業概要	自主防災組織の育成や充実・強化及び防災士のスキルアップを図るため、防災研修や講演会、シンポジウムなどを開催するほか、必要なテーマに関する調査・研究を行う。 また、事業を通じて、男女共同参画はもとより、世代・業種・障がい等の多角的な視点を基本とする。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市内の防災士向けの研修である「防災士フォローアッププログラム」にて、「男女共同参画と防災」をテーマに研修を実施した。講師は松山市男女共同参画推進財団理事長 桐木 陽子様と「女性と防災の会」のみなさまで、防災における男女共同参画について、グループワーク等を行った。開催日：令和6年9月14日
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	22名の方に参加いただき、防災における男女共同参画について、学んでいただいた。アンケートを取っているのので、令和7年度はより多くの防災士に参加してもらえよう、内容のブラッシュアップを行い、広報にも力を入れていく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	131(67)			
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化					
実行項目	5-1-2	産官民学が連携した地域防災力の強化					
事業名	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業【再掲】						
担当	市民防災安全課						
事業概要	産官学民が連携し、小学校から高齢者まで切れ目なく防災教育を行い、災害に強い人づくり・まちづくりを行う。男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を進め、誰もが住みやすいまちを目指す。						
数値目標	男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を実施する。	R5	80回	R6	80回	R7	80回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	小・中・高校生で結成されているジュニア防災リーダークラブでは、発足式を始め、工事現場の見学会や防災まち歩き、防災キャンプなど、年間を通して様々な防災教育を行った。マイ・タイムラインの普及で風水害での逃げ遅れゼロを目指す「逃げ遅れゼロプロジェクト」では、マイ・タイムラインアプリを運用するとともに、松山市立の中学1年生約4,000人に対してWeb版マイ・タイムライン作成授業を実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	ジュニア防災リーダークラブでは、11回のイベントを実施。延べ約410人が参加し、防災の知識や意識を深めることができた。そのうち、防災マップ作りや防災デイキャンプでは、避難行動や救助技術などの防災活動を行ううえで、男女共同参画の視点を取り入れることの重要性を伝えた。デジタル版マイ・タイムラインについて、男女問わず、全ての市立中学1年生に授業を実施することで、逃げ遅れをゼロにするための意識を持たせるとともに、防災の知識を深めることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を実施する。	80回	100%
-------------------------	------------------------------	-----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	132(71)
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	産官民学が連携した地域防災力の強化		
事業名	防災ひとづくり地域創生事業【再掲】			
担当	市民防災安全課			
事業概要	大学生防災士の養成や「防災リーダークラブ」の活動支援を行うことで、若い世代の防災リーダー育成を図る。また、「防災」を通じて大学生と地域や地元企業をつなげることで、地域の活性化を目指す。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	愛媛大学と連携し、短期集中講義「環境防災学」を実施し、大学生の防災士を養成するとともに、防災に関する知識を向上させることができた。 防災リーダークラブについて、学校や地域に対する防災活動を随時支援した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴取するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	環境防災学では153人が防災士資格に合格し、大学生防災士を養成することができた。 防災リーダークラブの防災活動は計61回実施し、学校や地域での防災力の向上に貢献した。 環境防災学の受講者に対しては、アンケートや意見聴取する機会がないが、防災リーダークラブ員には今後の方針等、意見を交換する場を設けている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	133
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-1	避難所運営や仮設住宅での男女共同参画		
事業名	対策本部運営事業			
担当	危機管理課			
事業概要	災害発生時に災害対策(警戒)本部の設置及び運営を円滑に実施し、被害情報の共有や被害対応の迅速化並びに気象情報等の収集、伝達を行い、市民の生命、身体および財産を保護し、被災者等の市民生活の早期安定を図るもの。対策本部運営のため、各担当職員への研修を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	災害対策(警戒)本部の各班の人選では、可能な限り男女を配置した。特に避難所運営や被災した住宅調査などの、班体制に一定の配慮が必要となる活動について男女共同参画の視点にたった本部運営を行った。また、男女共に過ごしやすい避難所づくりのため、避難所運営管理マニュアルの改訂を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>【課題】 災害時の本部運営や避難所担当など長期間や深夜に及ぶ勤務については、性差による一定の配慮が必要である。避難所での性差による問題を整理し、運営関係者の共通認識とする必要がある。</p> <p>【成果】 避難所運営管理マニュアルを改訂し、性差による課題整理を行った。 避難所ごとのマニュアル作成を行う中で、男女共同参画の視点の重要性を運営関係者に周知した。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	134(139)
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	松山市地域防災計画の進捗管理			
担当	危機管理課			
事業概要	災害対策基本法などの防災関係法令をはじめ、国の防災基本計画、被害想定および県の地域防災計画等をもとに、本市の地域防災計画を適宜見直し、防災・減災対策の更なる推進を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	防災会議、災害対策本部等での女性の参画を推進するとともに、避難所の運営や物資の備蓄、復興対策などで女性の意見を尊重することを地域防災計画に明記し、男女共同参画の推進を図った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】 地域防災計画等の修正にあたり、多様な立場の意見を聴取、集約する必要がある。 【成果】 備蓄物資や避難所運営で、さまざまなニーズに対応する整備が進んでいる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	135
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	防火指導事務			
担当	地域消防推進課			
事業概要	市内39地区で防火意識の普及啓発を推進している女性防火クラブ員が、防火に関する知識や火災発生時の対応などを習得するための研修や訓練等を支援するとともに、住宅用火災警報器の設置促進や春季・秋季火災予防運動期間中の火災予防広報など、地域に根ざした活動を実施する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	春季・秋季火災予防運動期間中に大型スーパーでティッシュやチラシを配布し火災予防広報を実施した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	女性で構成される団体であるが、性別で制限される活動ではないため、男性の参画についても協議すべきである。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	136
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	みんなの消防フェスタ開催事業			
担当	地域消防推進課			
事業概要	多くの市民に防火・防災について関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする各種団体の横の連携を深めることを目的に、「みんなの消防フェスタ」を開催し、防火・防災啓発を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年度は約6000人が来場し、市民に喜ばれるイベントとなった。
------------	-----------------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男女が等しく幼少期から防火防災イベントに参加することによって、未来の防災力向上に貢献してもらうため積極的な広報活動に取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	137
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	幼年少年消防クラブ育成事務			
担当	地域消防推進課			
事業概要	幼稚園や保育園の園児、また小学生に防火・防災についての知識やスキルを楽しみながら身につけられるよう、地元の女性防火クラブ員が防災かみしばい教室やかたるた大会などを開催し、次世代を担う子供たちの防火防災意識及び災害対応能力の向上を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年度は約6,500人の園児・児童へ防災教室を実施した。また小学生対象の少年消防クラブでは「一日消防学校」を開催し、子供たちの防火防災意識や災害対応能力の向上を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講者を増やし、幼少年からの防火防災意識の向上を図るため、積極的な広報活動に取り組んでいく。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	138			
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立					
実行項目	5-2-3	災害用物資の支援					
事業名	災害用物資資機材整備事業						
担当	危機管理課						
事業概要	地震等の大規模災害発生時に被災者に対して食料や飲料水、日用品、毛布等の物資を速やかに供給するため、必要物資の備蓄配備を行うとともに、衛生面に配慮し、ウェットティッシュや手指消毒剤なども配備する。また、避難所の環境向上のため、段ボールベッドや間仕切りなどの環境改善資器材を配備し、迅速な避難行動や避難生活への移行を支援する体制強化を図る。						
数値目標	備蓄食料数はR5年度に目標達成予定であり、その他の資機材等は松山市備蓄計画に基づき計画的に備蓄を進める	R5	50%	R6	60%	R7	70%

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	物資供給を行い、男女問わず個人のプライバシーを尊重できる取り組みとして、避難所となる公民館や体育館等に段ボールベッドや間仕切り等を配備した。また、衛生面を考慮しウェットティッシュや手指消毒剤をはじめ、救急セットの更新を行うことで被災者の支援を行える体制づくりを行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別にかかわらず様々な方から意見を聞き、災害用物資の整備に反映させる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	備蓄食料数はR5年度に目標達成予定であり、その他の資機材等は松山市備蓄計画に基づき計画的に備蓄を進める	50%	83%
-------------------------	---	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	139(134)
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-4	復興への取組での男女共同参画の視点強化		
事業名	松山市地域防災計画の進捗管理【再掲】			
担当	危機管理課			
事業概要	災害対策基本法などの防災関係法令をはじめ、国の防災基本計画、被害想定および県の地域防災計画等をもとに、本市の地域防災計画を適宜見直し、防災・減災対策の更なる推進を図る。			
数値目標	毎年検討を加えて、必要があると認められるときは修正を行う。	R5	R6	—

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	防災会議、災害対策本部等での女性の参画を推進するとともに、避難所の運営や物資の備蓄、復興対策などで女性の意見を尊重することを地域防災計画に明記し、男女共同参画の推進を図った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】 地域防災計画等の修正にあたり、多様な立場の意見を聴取、集約する必要がある。 【成果】 備蓄物資や避難所運営で、さまざまなニーズに対応する整備が進んでいる。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	毎年検討を加えて、必要があると認められるときは修正を行う。		
-------------------------	-------------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	140				
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実						
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進						
事業名	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発							
担当	人権・共生社会推進課							
事業概要	市内の小・中学校に対して、運営委員会の設置、基礎研修、学級・学年別懇談会の開催を依頼し、教職員及び保護者が人権教育の重要性を認識するとともに主体性を持って事業に取り組むよう意識を啓発することにより、人権感覚豊かな人材の育成に努める(校区別人権教育懇談会)							
数値目標	校区別人権教育懇談会	①実施回数 ②参加人数	R5	340回 65,000人	R6	340回 65,000人	R7	340回 65,000人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	市内の小・中学校84校で、校区別人権教育懇談会を開催し、人権・同和学習を実施した。学習活動後に取りまとめた実践例をもとに、小・中学校教職員や保護者を対象に、中央運営委員会を開催し、各校での活動内容を共有するとともに、今後の取組について全体で検討した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	令和6年度は、「学校教育におけるジェンダーについて」をテーマとして、性別の違いによって生まれる格差や固定観念が子どもの学習意欲や進路選択に影響を及ぼすことを取り上げた学校があった。他には、性の多様性に関する正しい理解等をテーマとした学校もあり、児童・生徒や保護者、教職員等に対して男女共同参画や性別による差別・偏見に対する意識啓発を図った。講演会等への保護者の参加が少ないことが、課題となっている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	校区別人権教育懇談会	①実施回数	403回	119%
		②参加人数	77,593人	119%

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	141
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	教職員研修事業(SDGs推進研修)			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	職員の経験年数に応じて実施する研修において、学校教育でのSDGsの推進について講座を設ける。また、令和4年度に各校から校内で主にSDGsを推進していく教員を対象とした「SDGs推進研修」を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>経験年数に応じて実施する研修においては、SDGsの概要をはじめ、学校教育でのSDGsの推進やESDについての講座を設け、延べ181名が受講した。受講者からは、「将来のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような社会づくりを目標としている。教育者として、子どもたちと一緒に考えていくことを大切にしたい。」といった感想が聞かれた。</p> <p>また、校内で主にSDGsを推進していく教員を対象とした「SDGs推進研修」では、小中学校での実践事例を紹介するとともに、自校での取組について演習及び情報交換を行い、87名が受講した。受講者からは、「SDGsやESDについて、教育活動にどのように取り入れていくか改めて考えることができた。情報交換で得たことを実践に生かしたい。」といった感想が聞かれた。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	SDGs17の目標そのものやESDについて理解を深めたり、学校での取組事例について共有することで、これからの実践について意識を高めたりすることができた。目標5「ジェンダー平等を実現しよう」についても、ある程度の理解・周知はできているが、ジェンダー平等に特化した講座や、学校での取組事例を取り上げることはできていない。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	142(61)
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	教職員研修事業(性の多様性)【再掲】			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	人権・同和教育主任研修や教職員の経験年数に応じて実施する研修で、性の多様性を正しく認識し、性的少数者に対する偏見や差別意識の解消を進めるとともに、自他の人権を認め合う教育を行うために、「松山市人権啓発施策に関する基本方針」に基づき、教職員への研修を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>教職員の経験年数に応じて実施する研修では、「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)と男女共同参画～一人一人の個性や能力をいかんなく発揮できる社会へ～」と題し、松山市男女共同参画推進センター館長に御講義いただいた。また、動画視聴にて、学校での性差によらない対応等の内容を含む人権・同和教育についての研修を行った。人権・同和教育主任研修では、聖カタリナ大学助教を講師に迎えジェンダー教育について研修を行った。対面での研修は延べ280名、動画での研修は54名が受講した。受講者からは、「多様な性の在り方について詳しく学ぶ機会となった」「自分の身近なところにもつらい思いをしている人がいるかもしれない」「実際にどのような立場に置かれているのか、何に困っていて、どうしてそれが見えづらいのかについて改めて学ぶことができた」という感想が聞かれた。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>アンケートによると、「どの研修でも新しい知見を得られた」「学校の教育活動に生かせる」等、99%の受講者が肯定的な回答をしており、性に関する正しい認識や学校での対応に関する知識への理解には一定の成果がある。また、動画研修等を取り入れ、受講しやすいよう配慮できた。今後も、学校現場のニーズを捉えながら、お互いが多様性を理解し、安心して過ごせる学校づくりを推進するための研修を企画、運営していく。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	143
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	松山の教育研究開発事業			
担当	教育研修センター事務局			
事業概要	『広がれ！ふるさと松山の心』等に掲載している先人の功績をSDGsの17の目標を視点に再構成したパンフレットを令和4年度に作成する。各学校に電子データを配信し、「ふるさと松山学」教材の一層の活用とSDGsの推進を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	児童生徒が所有している1人1台端末で活用できるように、デジタルコンテンツ「SDGsと松山の先人たち」を小学校5年生以上の児童生徒に配付し、各校で活用した。この教材の活用実践事例を、教職員専用ホームページに掲載し、いつでも閲覧できるようにしている。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	デジタルコンテンツ「SDGsと松山の先人たち」の活用に関するアンケートで、「活用した」と肯定的に回答した学校が54校であった。授業だけではなく、様々な場面での活用が広がりつつある。一方、研修受講者が取り組んだデジタルコンテンツ「SDGsと松山の先人たち」を活用した実践事例の報告についても、各教科等での活用の広がりはあるものの、ジェンダーに特化した事例はなく、引き続き、研修内で理解・啓発を図る必要を感じている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	144(43)			
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実					
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進					
事業名	アンコンシャス・バイアスの解消のための講座【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について学び、無意識のうちに刷り込まれた自分自身のものの見方や捉え方に気づく講座を開催する。						
数値目標	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	R5	3回	R6	3回	R7	3回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	アンコンシャス・バイアスについて、出張講座をとおり事業所に向けて意識啓発を行った。 また、公開講座では、性教育とジェンダーをとおり、「女性は…」「男性は…」というアンコンシャスバイアスに縛られ自分らしい選択ができなくなるといったジェンダーの問題とも密接に関係していることを考える講演会を開催した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に関するアンコンシャス・バイアスによる悪影響は、性別や年代に関わらず全ての人に関係する身近な問題であることを発信し、出張講座、公開講座をとおり事業所の社員や、市民に向けて啓発することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	5回	167%
-------------------------	----------------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R5)誰もがアンコンシャスバイアスを持っていて、見えていない(認識できていない)ことに気付くことが第一歩だと思う。自分事化できる気づきのワークショップ等をこれまで以上に開催してほしい。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R5)市男女共同参画推進センターで実施する各種講座や出張講座などでアンコンシャスバイアスに気づくワークショップ等の機会を増やしていきたい。

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	145	
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実			
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進			
事業名	地区人権教育の推進				
担当	人権・共生社会推進課				
事業概要	人権に対する関心を全市域において高めていくためには、地域における学習会の積み重ねが重要であるため、公民館本館や分館などを単位とした人権学習会を実施し、人権を大切にし互いを認め合えるまちづくりを目指す。				
数値目標	公民館・分館・集会所等 での人権学習会	①実施回数 ②参加人数	R5 250回 19,000人	R6 250回 19,000人	R7 250回 19,000人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	地区人権教育推進協議会や公民館事業推進委員会、ふれあいセンターと連携・協力し、公民館本館や分館・集会所などを単位とした小規模の学習会を実施した。全41館で235回開催し、28,942人が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	令和6年度は、「知ろう、気づこう、無意識の思い込み」をテーマとした講演や、多様化やダイバーシティをテーマに子ども向けの映画を視聴した公民館等があった。他にも、人権全般をテーマとした講演会や啓発DVD視聴の中に、男女共同参画の視点を取り入れ、性別による差別・偏見に対する意識啓発を図る公民館等もあった。参加者に高齢者が多く、研修テーマが偏りがちとなっていることが課題となっている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	公民館・分館・集会所等での人権学習会	①実施回数 ②参加人数	235回 28,942人	94% 152%
-------------------------	--------------------	----------------	-----------------	-------------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	146
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	松山市人権教育研究大会の開催			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	松山市人権教育推進協議会における関係機関・団体等の関係者ほか市民が一堂に会し、研究協議や交流を深める中で、人権に関わる社会問題の解決を市民一人ひとりの課題とし、問題解決に向けて果たすべき役割を確認し合うとともに、実践事例を通して、人権教育・啓発活動の一層の飛躍を図るために、研究大会を開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>令和7年1月29日に、松山市総合コミュニティセンターで、全体会（講演会）と5つの専門委員会に分かれての分科会を実施した。</p> <p>【全体会】 部落問題と向き合う若者たち</p> <p>【分科会】 ①命と尊厳が守られることを願って ～キリスト教会の取り組み～ ②不登校とフリースクールという選択 ～不登校そのものは、全く問題ないという考え方～ ③性犯罪から子ども・女性たちを守るために ～元刑事、4児の母が伝える防犯～ ④ねえ、なんで僕は障がい者？ ～障害の社会モデルとは～ 消費者被害の実態と高齢者や障がい者等を守るための取組について ⑤子育てとインターネット 社会教育、学校教育関係者など650人が参加した。</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度 (%)	5点中 5点	100%
-----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	<p>参加者の募集にあたっては、性別や年齢等を限定することなく行っている。また、専門委員会の委員も、性別や年齢等を限定することなく選定している。</p> <p>女性人権委員会による分科会③では、女性や子どもを性犯罪の被害から守るために大切なことについて学ぶ研究協議会を実施した。</p> <p>仕事等の予定調整をしたうえで参加する方々が多いことに配慮して、令和6年度から、終日開催から半日開催に変更した。アンケートの結果等の参加者の声を踏まえて、今後もより良い開催時間を検討していく。</p>		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度 (%)		
--------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	147
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権啓発フェスティバルの開催			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	人権問題に対する正しい知識や情報を提供することにより、市民一人ひとりの人権意識を高め、相互に人権を守り合うことの大切さを認識し、心豊かな人権尊重社会を築くことを目的として、人権啓発フェスティバルを開催する。当日は人権に関する講演会や人権問題の解決に向けて活動する団体による展示などを複合的に実施する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年10月19日(日)に、池袋暴走事故被害者遺族の松永拓也さんによる講演会をメインイベントにした人権啓発フェスティバル2024を開催した。講演会のほかには各種人権啓発に関するパネル展示や、白バイ・パトカー・松山市交通安全教育車の展示や乗車体験などを行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	犯罪被害者の遺族の人権をテーマにしたイベントであったため、男女共同参画に焦点を当てた活動は実施していない。しかし、当日は男女共同参画推進センター(COMS)のパネル展示ブースを設けたり、来場者への配布物の中に男女共同参画に関するチラシ等を入れることで、幅広い層に啓発することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	148			
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実					
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画					
事業名	キャリア教育の支援						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	親や小中学生を対象に、理系分野に親しんでもらう講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	36人	R6	36人	R7	36人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	女子学生・生徒の理工系分野への進学状況は他の分野と比較して低い状況にあり、女子の理工系分野への関心・理解を高めるために、小学校の女子児童とその保護者を対象に、理科部の女子生徒が講師を務め、サイエンスに触れる講座「親子で学ぼう～理科好き女子は愛媛大附属高に集合！～」を実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	今年度から、大学生でなく高校生に講師を依頼した。 参加者(小学生)との年齢が近いこともあり、保護者にとっても、理工系分野への関心・理解を高める機会を提供できた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	29人	81%
-------------------------	------	-----	-----

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	149(103)			
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実					
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画					
事業名	休日子どもカレッジ推進事業【再掲】						
担当	こどもえがお課						
事業概要	夏休み等の長期休暇中に大学の空きスペースなどを活用し、親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施する。						
数値目標	延べ利用者数	R5	2,800 人	R6	2,800 人	R7	2,800 人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施することができた。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松山大学 (実施主体 NPO法人ワークライフコラボ) 開設日数 52日 延べ利用者数:1,382人 ●ハーモニープラザ (実施主体 NPO法人いよココロザシ大学) 開設日数 52日 延べ利用者数:1,414人
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	延べ利用者数	2796 人	100%
-------------------------	--------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	150
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	学校・家庭・地域連携協力推進事業(令和6年度以前:放課後子ども教室運営事業)			
担当	地域学習振興課			
事業概要	放課後や週末などに、小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの学習や体験、交流のための安全・安心な活動拠点(居場所)をつくる。地域全体で子どもを育む体制づくりの一環として取り組むことで、地域の教育力の向上と子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	各地域で組織された実行委員会が市内29箇所放課後子ども教室を運営し、宿題の見守りやプリント学習、スポーツ、書道等の文化体験、昔の遊びを通じた地域の高齢者との交流などを実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 2点	50%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	対象外
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	×
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	地域の方が参画している各地域の実行委員会が、主体となって放課後子ども教室を運営し、子どもたちに学びの体験の場を提供できた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	151
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	子どもから広がるいじめ0ミーティング			
担当	学校教育課			
事業概要	小中学生による「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施し、各学校の児童生徒の代表者や保護者、教員等の参加により多様な意見を交わす機会を拡充するとともに、児童生徒のいじめに対する認識を深め、すすんでいじめをなくそうとする態度と実践力を養う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	令和6年12月27日に「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を開催したり、毎月10日「まつやまいじめ0の日」には、各学校において、いじめをなくすための取組を実施したりした。令和6年度は、「いじめ0ミーティング」において、取組優秀校6校が自校の「まつやま・いじめ0の日」の取組を紹介し、表彰した。「市内の小中学校で共通して取り組む『まつやま・いじめ0の日』の活動」について、各校の実践の成果を持ち寄り、共有した。また、SNSトラブルについて各グループで協議し、全体での意見交流を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「子どもから広がるいじめ0ミーティング」では、本市の小中学校の実態に応じたテーマを検討し、さらに協議が充実したものになるようにしたい。また、「まつやま・いじめ0の日」取組優秀校の発表、グループ協議を通して、市内小中学校のいじめをなくそうという機運を高めることができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)		
-------------------------	--	--

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	152			
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実					
実行項目	6-2-1	生涯学習の推進					
事業名	元気活力支援事業						
担当	地域学習振興課						
事業概要	地域住民のニーズに即した講座や地域課題解決のための活動などを行い、地域に密着した円滑な公民館運営を行うことで、元気で活力に満ちた人づくり・地域づくりを目指す。						
数値目標	講座・活動開催数	R5	2,000 回	R6	2,000 回	R7	2,000 回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	高齢者、成人、青少年等対象者別学習を開催し、地域住民に幅広く生涯学習の機会を提供することができた。また、スマホ教室や民間企業が提供する健康講座等を取り入れるなど、時代のニーズを捉えた学習機会を提供することができた。公民館を拠点に地域性を生かした特色のある学習会や講座を実施することで、地域に誇りと愛着を持つ人を育み、魅力ある地域づくりに貢献することができた。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	企画段階から、誰にとっても参加しやすい事業となるよう地域住民の声を活かしていく必要があるが、各公民館の事業を検証する公民館運営審議会委員からもその点に関しては特段の意見も無く、男女共同参画に充分配慮することができていると考えている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	講座・活動開催数	2150 回	108%
-------------------------	----------	--------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	153			
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実					
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワーメント)のための機会の充実					
事業名	男女共同参画に関する出張講座の開催						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	市民対象に男女共同参画推進の意識啓発を図るため、市民グループや企業、学校等に対し、講師を派遣する出張講座を開催する。						
数値目標	派遣回数	R5	20回	R6	22回	R7	25回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	実施した22団体の内訳は、市民一般(市民団体・PTA保護者等)7件、事業所9件、学校(児童・生徒等)6件。「ジェンダー平等」、「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」、「地域防災に男女共同参画の視点」など、多岐にわたるテーマの依頼があり、講師を派遣した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き、内容・開催形式ともに市民の多様なニーズに応じることができるよう、講師の開拓を行い、申込団体の希望に沿った講座を実施していく。 申込団体の希望に応じ、オーダーメイドで講座内容を組み立てることで、参加者の満足度は高く、次年度も利用したいとする団体が多かった。 参加者は幼児から高齢者まで多岐にわたり、様々な団体の要望に応えることができている。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	派遣回数	22回	100%
-------------------------	------	-----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	154(72)			
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実					
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワーメント)のための機会の充実					
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	子育て中の母親、男性、親子、高齢者等、対象を明確にし、対象のニーズに合わせた男女共同参画の推進に資する講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	240人	R6	240人	R7	240人

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	<p>「ファミリー・キッチン」(全2回): 家族でお菓子づくり / 子育てパパの料理教室</p> <p>「親子で学ぼう～理科好き女子は愛媛大附属高に集合!～」: 理系女子育成講座</p> <p>「子育てアップデート! ママとパパの”ゆとり”づくり」(全3回): 子どもの自己肯定感 / 性教育 / 子育て</p> <p>「暮らしのスキルアップ講座」(全2回): 片付け / 防災</p>
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加人数の増加とともに、性別・年代を問わず多様な層に参加いただくために、チラシや広報紙、SNS等を活用し、より一層広報活動に取り組んでいく。 ジェンダー平等の考え方を広げるために、市民の興味関心をそそる内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	264人	110%
-------------------------	------	------	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	155(88,100)			
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実					
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワーメント)のための機会の充実					
事業名	若者のライフデザイン支援事業【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。						
数値目標	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	R5	1回	R6	1回	R7	1回

【令和6年度実績報告】

令和6年度の取組内容	次世代を担う若者が、就職・結婚・子育てなど、自分が思い描く人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけを提供するため、市内の短期大学・大学生に向けた「ライフデザインをテーマとした交流会」をコムズで開催した。交流会では、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる事業所を松山市と松山市男女共同参画推進財団が認証する「まどんな応援事業所」等(8事業所)が参加し、短期大学・大学の学生(16名)が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	各事業所の担当者が発表したライフラインチャートをとし、学生との対話の中で、結婚、就職、子育て等のライフプランニングやキャリア形成のための周知啓発等を行うことで、若い世代が知識を習得し、自ら人生設計(ライフデザイン)を構築することができる機会を提供することができた。		

<評価2>

令和6年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	1回	100%
-------------------------	----------------------	----	------

<評価3>

松山市男女共同参画会議による意見	(R6)大学生の意識づけ、きっかけづくりを目的とするなら、参加者を集めるのではなく、大学への出前授業などの形を取った方が良かったのではないか。
松山市男女共同参画会議による意見に対する対応等について	(R6)今後は大学等の必修授業に充ててもらい、少しでも学生に意識づけ、きっかけづくりを提供していきたい。